京城日報
二十七日夕刊
（朝夕刊併せて八頁）
發行所　京城太平町通一丁目　京城日報社

第四十回帝國議會（東京特電）

衆議院（廿六日）

▲質問會

二十六日午後一時二十六分開議、諸般の報告ありて日程に入り、馬匹要限に關する質問あり、八田宗吉氏（政友）より種馬種付料、競馬法の實施等に就き政府の所見を質し、東三省に於ける排日行動に關する質問、伊東知也氏（國民）より滿洲にて排日思想漲印刷物等にて邦人を罵倒讒謗しつゝある事實は邦家の爲め遺憾に堪へず是れに對する外務當局の意向如何と質し次ぎに自動車取締に關する質問、高見之通氏（政友）より自動車事故頻出に就て當局の意向を問ひ次に警察官の行動に關する質問、横山勝太郎氏（憲政）より選擧の憲法發布三十年記念國民大會に於ける警察官吏の行動に關して内相の意見を質し次で日程變更

▲小學校教員俸給國庫負擔法案　委員長中橋德五郎氏（政友）より報告通りに原案修正可決

▲私立學校及び公益法人の用地免租に關する法律案　委員長櫻井藤四郎氏（清和）より報告あり讀會省略可決確定

▲物價調節に關する建議案　提出者元田肇氏（政友）の提案理由説明あり物價調節令建議案委員に附託、日程變更夫より紫安新九郎氏（憲政）懲罰動議に入り同三時四十分秘密會に入る（電報故障延着）

露國騷亂情勢

▲對露國回答　獨講和條件　四十八時間以内に承諾

廿三日附露國無線電信は報じて曰く獨逸は十九日の露國側講和提議に對し廿一日回答を發し獨逸は左の條件を以て講和を締結するの準備成れりと通告せり（倫敦電報）

一、獨露兩國間の戰爭狀態は終結せる事を聲明する事

二、ブレスト、リトウスク會議に於て露國委員に對して擧示せる境界線の西方に存在する從前露國の領土たりし地帶は今後露國領土として其保護の下に置かずドウキンスク地帶に於ては此の境界線はクールランドの東境迄進められざる可からず獨墺兩國は是等地帶の住民の承諾を得て今後の運命を決す可し

三、リボニア及びエストニアよりは直に露國軍隊及び赤衛軍を撤退せしめ同地方が自身の憲法に依り生命財產の安全を保障せらるゝ迄獨逸官憲は不穩の地方を占領す可し

四、露國は小露西亞と平和を締結し小露西亞及び芬蘭より撤退す可し

獨軍新活動地域

五、露國は東部アナトリヤ國境の秩序を整頓して土國に還附する爲め最善の努力を成す可し

六、露軍動員は完全に解除す可し

七、露國艦隊は聯合國艦隊と共に一般平和迄是れを露國港灣に抑留す可く然らずんば武裝を解除す可し

八、千九百四年の露獨通商條約を復活し獨逸の讃占の保障されざる可らず新なる通商條約交渉開始さる可らず

九、露獨間の正當なる政治的關係は最初の獨露協約に基きて制定さる可し

十、露國は獨、墺、土、勃に對する反抗運動中止を約す

十一、露國は如上の條件を四十八時間以内に承諾し其全權委員はブレスト、リトウスクに於て三日以内に平和條約に署名し同條約は二週間内に批准されざる可らず

▲獨講和條件承認

レーニン及びトロツキーは伯林に書面を送り獨逸の講和條件承認及びブレスト、リトウスクに露國委員を派遣すべしと通達せり（露都電報）

▲露都防禦に努む

露都は獨軍の襲擊に備ふ可く今や防禦の準備中にして軍隊の一部は既に出發せりと傳へられたり（倫敦電報）

▲軍隊委員捕はる

露都廿三日附公報はリエヂツアを發しドウキンスクに向へる露國軍隊及び第五軍團委員は途中獨逸軍に捕へられてエヂツアに引戾されたり、尙露國軍事委員は露都防禦の爲め臨時參謀部を設け戒嚴令を布き相當防禦手段を講じ爆發物を沒收し食糧の調査を行ひ一般人民を動員し不動產を徵發せり（露都電報）

▲軍艦港灣に氷結

露都二十五日發電報に依れば多數の新式弩級艦を有する露國艦隊は目下レヴアル及びヘルシングフオルスのオール港に氷結し居れりされば今日に於て是れを破壞せざる時は乘組員は何れも戰意なきを以て途に獨軍の手中に陷るの虞れあり（露都電報）

○適齡者出發命令

英國陸軍省は從來徵兵を免除されたる在露適齡者全部に對し通告して第六時間以内に本國に向け出發の準備を爲す可く同時に婦人小兒等は速に出發す可しと命じたり（倫敦電報）

□佛國新聞の露國觀　露國の降伏に就て

第一は今回の降伏を以て露國勞兵會政府の演せし喜劇の最後の幕なりとし必ずしも豫想外の事にあらず勞兵會が其專制を維持するに萬事を犧牲とし

▲露國軍隊を瓦解し戰爭を爲し得ざるの狀態に置き而も戰はずして獨墺に於ける革命の勃發により戰敗の結果を免れんとせしより生じたる當然の成行なりとせしオム、リーブル紙の如きは降伏を以て露國革命者の空想が獨逸政府の現實の前に倒れしものなりとせりデバ紙は廉耻自負心なきレーニン、トロツキー輩は外敵に對し無力なりしより生ずる失望を國内の愛國者を倒して慰さめんとするものなりと閧笑せるに反し社會黨の機關紙は露國が革命思想を放棄し急に降伏せるは全國が軍事上立つ能はざるに因りしなる可しと露國今回の擧を深く論せり第二は露國の降伏は露國勞兵會政府の大綱

▲人民自決權等を基礎として主張せし民主々義とする平和を齎さず獨逸平和の勝利に歸せりとし獨逸はウクラインに勢力を扶殖しリツアニア、クールランド等の沿羅的沿岸地方を其配下に治む可く且露國に對し經濟的條件を強要す可きを以て露國は今や其領土分割と經濟壓迫の運命に逢せりとなし特にタン紙は獨逸參謀本部は二箇月餘の談判に依り遂せざりし目的を僅か二日間に達し得たるを以て獨逸國民に對し其權威を增せし事大なりとしアクシヨン、フランセーズも亦同樣に露國の降伏がプロイセン軍國主義に勝利を與へ國民をして軍人派に信頼せしむるに至れる事は最重大なる出來事なりとせり又デバは獨逸が果して

▲露國の同意せるブレストの講和條件に滿足するや此際獨逸が更に新要求を提出せざるやを疑ひマタン紙の如きは獨逸の目的はウクラインを靜穩にし露國内の秩序維持を計るにあるを以て勞兵會政府と行動を共にするや否やさへ疑問なりとせり第三は協商側は既に露國の協力を期待せざりしを以て降伏の結果强大ならざる可しとなし例へばプチジユルナルは獨逸は或は露國方面より食料原料品の補給に便宜を得べけんも軍事上特別の利益を得ざる可し蓋し獨逸は東方戰場に於ける兵力を最少限度となし居れると一方波蘭に於ける反抗は今以上に兵力を割く事を許さざる可し第四は露國降伏の結果協商側の採る手段は獨逸が東方戰場にて効を奏せし方法を

▲西方戰場に移し陰謀破壞等有ゆる手段を以て協商諸國を離間せんと計る可く協商側は併國大敗後軍事上の協力に一歩を進めたるが如く今や政治的協力をも更に有効ならしむるの時なりとしエコー、ド、パリーは更に一歩を進め今回の降服は勞兵會の行爲なるも露國々民も亦其責あり露國の墮落は勞兵會の降服に對し抗議をなすものだに無き程度に達せり而して勞兵會の勢力擴張し今日露國は最早や外國の力に依らずして立つ能はず中歐帝國は其力を與ふるに便宜を有す唯其結果は露國をして全然獨逸勢力の下に立たしむる事となる可し獨逸勢力の全露に及ぶを防ぐは日本の

▲亞細亞干涉に依るの外なし英米國は革命保護及び獨墺への革命思想輸入等に關する擧を捨て地方の行動を容易ならしむるを要すと論せり（二十三日巴里發所）

○對露問題密議か

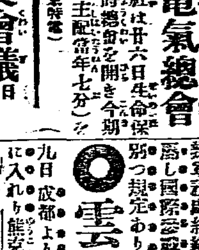
陸外交總長は二十五日午後四時日本公使館に芳澤代理公使を訪問し約一時間に亘りて密議を凝せるが右は對露問題に關する交渉なりと解せらる（北京特電）

○製鐵所長官任命

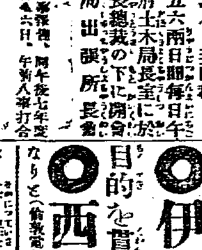
二十六日左の通り任命發表ありたり（東京特電）

任製鐵所長官（特旨を以て敕任待遇）　拓殖局長官正四位勳二等　白仁武

兼任拓殖局長官　法制局長官兼内閣恩給局長正四位勳二等　有松英義



新任製鐵所長官　白仁武氏



兼任拓殖局長官　有松英義氏

○瓦斯電氣總會

朝鮮瓦斯電氣會社は廿六日生命保險協會に於て定時總會を開き今期利益金處分案（株主配當年七分）を附議可決せり（東京特電）

○土木所長會議日程

既報の如く三月五六兩日間每日午前九時より總督府土木局長室に於て宇佐美土木局長總裁の下に開會せらるべき土木局出張所長會議日程左の如し

▲三月五日、午前工事報告、同午後七年度工事施行に就て打合▲六日、午前人事打合、同午後事務打合

◎朝鮮移入稅撤廢と大藏當局の說明

（東京特電）廿五日政府より衆議院に對し朝鮮生產に係る物品の移入稅免除に關する法律案を提出したるが右に關し大藏當局者の說明する所に依れば「從來朝鮮よりの移入貨物の無稅取扱は米のみに限られ居りしが一昨年の議會にて鐵塊金屬物を追加し今回更に鐵類以下の製品の移入稅を撤廢せんとするの趣旨は朝鮮に於ける鐵鑛業其他化學工業の發達近時著るしきものあり是等朝鮮に於ける產業を助長するを主とするものにて旁々是れと同時に米糠を無稅にするは內地肥料の供給に便し生牛、大麥等は朝鮮の方豊富なるを以て幾分にても內地の需要に應じ彼我の便益に資せんが爲めに外ならず」と

◎道學務主任會議（第三日）

道學務主任會議第三日は二十七日午前九時半より總督府第二會議室に於て宇佐美內務部長官總裁の下に注意事項、打合事項の日程を了へ午後三時散會せり

く其日程左の如し▲三月七日提出問題に關する打合▲八日打合▲九日指示及び注意

◎浦鹽と過激派　保稅倉庫占領說無根

浦鹽斯德の外國貿易市場たるエゲルセリドが過激派の占領に歸し同地倉庫在庫品掠奪されたりとの報に對し朝鮮銀行にては浦鹽松田支部に電照中なりしが其の返電に曰く「エグルセリドの倉庫引渡しを過激派より稅關に要求せりとの說あるも其の占領は事實に非ず」とありたり尙ほエグルセリドの稅關保稅倉庫には日米の貨物も多量に在庫せるに付右倉庫在庫品を占領せらるゝに至らば浦鹽の日米兩國軍艦は默視せざるべしとも觀測されつゝあり又浦鹽過激派の勢力增大は事實なるも其の秩序の甚しき紊亂を來せる事は未だ之れなきものゝ如し

○南北二週間停戰　馮總統の擧國一致通電

馮總統は二十五日南北各省に對し外交の危機に迫れるを報じ速かに內爭を解決し擧國一致以て外に嚮らざる可らずと通電せり、尙ほ南北間は廿七日より一週間の停戰を爲す可しと（北京特電）

○日本と協力防禦

段祺瑞氏は馮總統を訪ひ西比利亞の現狀を述べ日本と協力防禦の必要あるを說けり（北京特電）

○參戰督辦軍務處

二十五日總統令にて參戰督辦軍務處組織令七箇條公布されたるが之れに依れば督辦は總統に直隸し國際參戰事務を處理し事務を參謀、外事、軍備、教養の四科に別つ規定あり（北京特電）

○雲貴軍成都に入る

劉存厚、張瀾氏等は十九日成都より陝西方面に遁走し尙雲南軍貴州軍の一部は廿四日成都に入れり熊克武氏は近々成都に赴くべし（北京特電）

○伊戰爭目的決議

二十四日伊國下院は戰爭目的を貫徹すべき決議案を滿場一致にて可決せり（倫敦電報）

○西部戰線の平穩

西部戰線は目下概めて平穩なりと（倫敦電報）

◎三井買占否認　何者かの流說乎

高野三井支店長談　頃日市場の一角に三井物產京城支店が濠洲輸出米と稱し鮮米の大買占めを行つてゐるとの風說があるらしい又は

▲濠洲輸出は口實であつて事實は思惑的に鮮米を大に買つてゐるとも吹聽してゐるとの事である、仁川の期米相場が近日內地相場に必らずしも伴隨せぬのは三井が切りに買ひ進むからと云ふ結論も出てゐるやうだが予はさうした意味の鮮米買占めさる意味の思惑は他の店なら知らず三井は決して行つてゐないと云ふ事を公言する此頃仁川の期米が上り一方なのはコレは日露時局の重大を見越した故であらうと思ふ、又若し三井買占めと云ふ事が一の材料となつてゐるならばそれは買方に廻つて一部の口實であつて三井の名を出し如何にも

▲買方の資力は充實してゐると云ふ事を自己の商策に有利なるやう吹聽してゐるのではあるまいか、又正米相場にも影響してゐるとすれば餘りに職權濫用ではないか京城の三井は米の賣買をやつてゐないとは申されぬ、然し三井の扱ひつゝあるものは極めて少量で大手筋と目さるゝものでは斷じてないのである、殊に米價調節の聲高く政府でも相當の施設を考究し實行してゐられる今日左樣な思惑的買占めをやる程吾々は利權に遂ふの徒ではない積りである然し火のない所に煙は立たぬと云ふ三井

▲大買占說の出所を案ずるに恐らく過般來木浦米が品質頗る優良であつて鮮米に好適せるため若干買つた數量を某地輸出のため買つた又某貯米筋の米が馬山なら馬山平澤なら平澤と云ふ風に頗る整一してゐるから買米の申込みをした事がある、然しそれは大した數量ではないのである而已ならず一方最近群山で手持の米數千俵を內地相場昇騰の爲全部賣拂つたと云ふ事實もある思惑買ひを大に試みんとするならば手持米を賣らなくてもよからう又

▲時局のためにに三井が米を買うのではないかと云はるゝ人もあるらしいがそれも全く跡方もない事である要するに巷間傳へらるゝ三井の鮮米買占說は恐らく以上一二の事例を事喧しく傳へ三井の名義を勝手に擔ぎ出して勝手に吹聽してゐるのだと予は斷言して憚らない又さる噂を立てらるゝのは甚だ遺憾である

◎中旬鮮鐵成績

二月中旬に於ける鮮鐵營業成績は旅客收入十六萬六千六百圓貨物收入十七萬六千百圓合計三十四萬二千七百圓にして前年同月より八萬五千圓の增收を示し一日一哩平均收入は三十一圓四十錢なり

◎電信遲延せん　內鮮電信線故障

二十六日朝鮮內及び內地下の關大阪間天候不良にして雨雪聯しく漏電切りなるより東京、京城電信線京城大阪電信線及び京城下の關線の通信は時々不能に陷り爲めに音信の疏通捗々しからず東京、京城線並に大阪京城線に於ては二十五日受付のものにして二十六日に持越せるもの少なからず又下の關京城線は二十六日午前六時漸く送受信を了せり以上の次第なるを以て天候恢復する迄電報の遲延は免れ難し（遞信局者談）

◎米國鐵道隊員　朝鮮通過露國行

長崎に滯在中の露國に派遣せらるゝ米國鐵道隊員一行二百六十名は本月二十八日より三月三日迄四日間每日午前十時二十分釜山發北行列車にて五十二名宛通過し長春經由哈爾賓に向ふ事となりし滿鐵京城管理局に入電あり

◎鮮銀警務部長招待

鮮銀行にては二十八日午後六時半より古市警務總長以下總督部各課長並びに目下滯京中の各道警務部長を料亭花月樓に招待し饗宴を張る由

◎支那交通部員視察

支那交通部員鄺氏及び其の一行は鐵道事務及び運轉狀況其他に關する實地の視察を遂げ支那交通部員一行十二名は二十日朝京城通過平壤に向へり

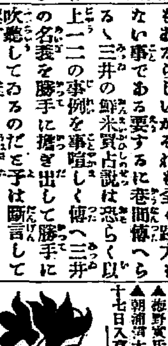
◎咸興高等生徒募集

本年四月開校すべき咸興高等普通學校は目下第一學年生徒約百名募集中なるが願書受附期は三月卅一日迄にして入學試驗は四月十六、七の兩日同校に於て施行入學許可及び願書等總て京城高等普通學校

人事消息

▲中村竹藏氏（京城覆審法院檢事長）二十日夜歸京
▲中村孝三郎氏（總督府事務官）同上入京
▲梅野實氏（第二補充隊長）廿七日尾へ
▲朝浦滿太郎氏▲高木義英氏（總督府技師）十七日入京天眞樓へ

彼れ此れ



◆明治初年より、兎角七の附く年には、我外交の緊要なる不思議也。即ち明治七年に征臺の役あり。十七年は朝鮮の事變、二十七年は日淸戰役、三十七年は日露の戰役あり。而して明治年より起算して、四十七年目の大正三年には、靑島の戰爭あり。大正七年を迎へては、極東の雲急にして、我大使亦、露都引揚を報じ來る。御幣擔ぎに非ざるも何等の因緣に依るか。呵々。

◆列國使臣の、露都引揚後は聯合與國の、對露外交の中心地我東京たるべしと。世界の耳目之より帝都に集中すべし。

◆大阪にては、一村役場の書記三萬圓横領の罪跡、其死後に發覺す。其生前は、忠實格勤なりしと。自然の皮肉は、人の心を刺すの、感なきに非ず

◆借金の申譯に窮して、一女大阪にあれば、僅に米一俵盜んで、一家五人縊死せし者口縣にあり。何れも皆、生活難より來りし悲慘事也。紳士階級に多く、貧乏者に、比較的正直多きは、世人以て奈何とかす

[illegible]

◆浦塩港北岸のアドミラル埠頭

●老兵許りの浦塩陸軍

―軍艦も拿捕同樣―

△スワと云はゞ日章旗を眞先に▽

△然し心配する程の事はない▽

埠頭倉庫には米や小麥粉が澤山ある

浦塩來電の電報を齎らして某露國通を訪へば駐露大使の引揚げは露國の確立せる政府なきと露獨講和成立の爲めなれば直ちに砲火を見る迄には至らざるべし要するに露國は混亂狀態にて手の附けやうなく同時に過激派益々優勢となり西伯利より浦港方面の

◆獨墺俘虜が　解放され武裝せりとの事なれば何時如何なることに至るやも圖る可らず極東にて露國の軍港は唯浦塩斯德あるのみにて我海軍既に同港の警備に著き嚴然として監視の任に當り居れる上に數日前某軍港より碎氷船の急遽成り之に運送船を急行したと云ふから

◆今頃は到著　せる頃ならん目下浦港は一帶に結氷し寒氣は酷烈である而して此の間浦塩要塞が某國碎氷船を砲撃したとあつたが同港の要塞は旅順の如く幅員七より三時の砲臺各所にあるも巨砲は皆夙に東部戰線に輸送せられたるに付き今は微弱なるものであろ又要塞司令官の如きも過激派の一水兵にして海兵團長も亦一水兵なれば

◆其不規律は　想像し得べく港内には既に西伯利艦隊の小巡洋艦「アリョール」外水雷艇二隻あるも日英軍艦の爲拿捕同樣となり居れば萬一騷擾を見るも開戰する迄の手答なかるべし唯浦港在留邦人數千名が引揚ぐる場合軍艦又は運送船に便乘保護せざる可らざるものあれば過日の電報の樣に某

◆艦隊の急派　あるやも知れず萬一の場合○○○名の海軍陸戰隊が上陸し旭旗を浦港に樹つべき準備既に出來て居る筈だ而して浦塩附近に居る獨墺の俘虜は浦塩の北方約廿五里の「ニコリスク」東清鐵道と、烏蘇里鐵道との分岐點」と夫より少し浦塩によつたアラズダーリノイエと沿海州總督府所在地たるハバロフスクとの三箇所に五六萬許りゐる

◆浦塩が占領　されたとすれば是等俘虜開放の結果だと想はれる從り浦塩停車場前に要塞司令部を設けて盛んに演習をやり難攻不落を誇つて居た要塞も軍隊は勿論大砲迄全部戰線に送つて居るから今は威張れたものではない、殘留して居るのは僅に老兵のみだから俘虜が押寄せて占領するのは

◆赤ン坊の手　を捩るよりも易々たるものだ目下浦塩には三井物產、三菱、大倉組、久原、大阪商船等の各出張所、協信洋行外大小數十の店があり在留民は三千人許り居るから若し占領されたとすれば大騷をやるのだらう日本人が避難するとなれば日露戰爭當時の如く一旦

◆海上に避難　し夫から引揚げるより方法はなからう今の處踏輸衛に出る事は不可能である浦塩の西南端エゲリセリド埠頭は軍需品のみ取扱つて居る處で約二十棟の大倉庫が建ち並び一方それより東約二十町西比利亞線の起點たる浦塩停車場を後に控へた商港埠頭がある總て

◆一般の荷物　は此處に集まり十四五棟の大倉庫にも輸送困難の爲めケレンスキー時代よりの軍需品其他の貨物が山積して居る何故に貨物が澤山あるかと云ふと露支國境ポグラニチナヤで支那軍隊が貿易を差止めて以來露國に對する商賣は丸切り無くなつてしまつたからである過激派の浦塩倉庫掠奪或は占領等の電報も見わたが其う云ふ事はない筈だ彼れは多分

◆引渡の交渉　でもあつた位の事だらう浦塩には波止場が二つに分れて居て一方は軍需品他方は商品の荷揚下しに專用され其の間に數十の大倉庫が櫛齒を形づくつて居る各倉庫の中にはケレンスキー政府時代に入つた種々のものがまだ澤山殘つて居て

◆米砂糖小麥　粉等が却々澤山あるとの事である、又亞米利加から買込んだ松脂等が百五十噸もあるさうで所有者の露商人は夫等を日本商店に買つて呉れと賴んで來て居る位だ浦塩も何うなるかは無論未定だが今の處では其う騷ぐ程の事もなからう

●陸軍飛行機

南滿の空に飛ばん

＝來る五月中に決行の豫定＝

陸軍航空大隊にては五月頃大陸飛行の經驗を得る目的にて南滿洲某地にて飛行演習を行ふべく飛行機はモ式六臺にて四月下旬迄に一切の準備を整へ門司を解纜すべしと（東京特電）

●鐵道　貨物庫燒く　損害約二萬圓餘

去二十三日零時三十分頃湖南線長城驛ホーム倉庫より出火せり折柄西北の風強く殊に夜半の事故附近の者驅け付けたる折は火手盛にして必死に消防に努めたるも如何せん水利の途なく遂にホーム倉庫一棟及び倉庫内の貨物全部烏有に歸するに至れり原因は荷主側の夜番人の煙草の吸殼より出火したるものにて在庫品の重なるものは木浦綿業行の實棉一萬七千四百四十斤群山不二興業行繰綿二千百八十斤玄米百五十叺セメント及び能登等にて總損害約二萬七百九十圓に及べり

●修理工場失火

二十七日午前七時半頃鎭海修理工場に火災あり目下消防中なる旨其筋に入電ありたり

●新義州の火事

本月二十三日午前五時四十分新義州府本町一番地製材業荒木要次郎方より發火しトタン葺家屋百五十坪を燒失し同六時四十分鎭火せり損害工場家屋一棟三千五百圓汽罐汽機壹臺二萬七千圓製材五千圓合計三萬五千五百圓にして原因は詳かならざるも前夜就業後の火の仕末惡かりし爲め鋸屑に燃付きたるが如し人畜には死傷なし

●在荷の豐富な

薪炭類

◆京城の需要を　五六箇月間支へる事が出來る

暖爐も邪魔になる氣候となれば薪炭類は自然に下落するが本年の暖かさは例年に無く早く來て、そろ〳〵燃料の需要も減じやうとする二月上旬以降瑞興新幕南川等を中心として

▣京義線方面　から續々入荷したため先高見込みで押通して來た薪炭商も一寸鼻柱を折られた體、相場も次第に軟弱に傾き昨今では根炭が八十錢から九十五錢、白炭が八十錢から八十五錢、薪は雜木のよく枯れたので

▣十貫八十錢　位ゐである天候が順調でさへあれば下落する一方であらう、殊に一時鐵道沿線の在荷が尠いのを見込んで買附けた薪炭商は一時に引取つたまゝ

▣薪炭類山積　し此分では宜つたが南大門驛頭忽ちにして京城の需要を五六箇月間支へる事が出來るだらうとの見込みが立つため今では幾分持餘し氣味である、因に一時掃底を唱へられて居つた地方の薪炭類は最近某方面の調査に依れば比較的潤澤であるから人爲的に吊上げぬ以上相場の暴騰はせないであらうと（某當業者談）

●太刀山負傷す　足を折る

太刀山は房州の巡業先にて足を折り二十六日夜順天堂に入院せり（東京特電）

●警官練習所卒業式

警官練習所にては二十七日午前九時三十分から第二十五回の卒業式を擧行したり席定るや松井所長は直ちに擧式を宣し先づ卒業生六十名に對し卒業證書を授與したる後事業報告を試みたるが次いで古海警務總長より優等生總代遠藤四郎氏に對し褒賞の授與あり終つて松井所長の訓示、古海總長の誨告、卒業生の朝鮮語演說等ありしが朝鮮語對話は短期間の修業にも拘はらず頗る流暢を極め非常の好成績なるを思はしめた夫より擊劍柔道の試合、體操、捕繩術、繩武術等諸種の練武

◆練習所の卒業式

●東京に肺ペスト

患者は傳染病研究所の助手

◆警視廳の大警戒

芝白銀臺町なる傳染病研究所細菌試驗室助手獸醫田村孝太郎氏（三七）は二十六日肺ペスト疑似症にて逝去せり右は細菌研究の際傳染せるものゝ如く警視廳にては急遽附近の防疫設備に著手せり（東京特電）

を活潑に演じたる後記念の撮影をなし正午全く終了したるが古海總長の外來賓の主なる者は其警務官、國友、宮館、國府の各課長、小本町、鍾路、橋本昌德宮の各署長等にして來賓に對しては式後質素なる酒肴の饗應ありたり

●母親を絞殺す

全北井邑郡内藏面校岩里百四十八番地金基滿（二五）は母張姓女（七〇）が老病のため日々衰弱し病床に横はり居るに同情し二十日午後七時食事を採らせる事も能はねば一層殺して終はむと突然母親の上腹部を絞めて息の音を止め翌二十一日申時も如く溫突に寢せ置き夜に入りて密かに附近新月里に運搬し他人の所有地に埋葬したる事發覺目下井邑分隊にて取調中

●電線窃取

全南光州郡郵便局管内に於て電線約二十間目を切斷し窃取したるものあり其切斷の模樣に依れば通信に妨害を加ふるものとは見えず全く電線を窃取して之を賣らん目的に出でたるものにして地上より約六尺位の箇所より之を切斷し之に使用せるは鋸らしく目下犯人搜査中なりと

●大同江徒涉禁止

大同江の解氷は例年より早く昨今危險の狀態にあれば平壤府は二十七日八馬牛車の通行を禁止する旨布告したり上流麥田の後は人の通行のみは爲し得るも牛馬車は絕對に禁止し居れりと（平壤）

容姿花の如き

美人間諜（五）

―レーニンを伯林に連れ來れと獨帝の命令＝伯爵夫人の活動は百尺竿頭更らに一歩を進めた

世界各國の間諜が入り込んでよう〳〵して居る處へ持て來てレーニンと本國伯林政府から密偵を附せられた伯爵夫人は非常に窮した遂に獨逸の密偵は伯爵夫人の秘密書を奪つて本國政府に送つた何故伯林政府が

◆自國の間諜　に又た密偵の報告を附したかと云ふと伯爵夫人の報告が曖昧であつたからであつた或る日の事露に伯爵夫人を刺さんとしたレーニンの情婦が夫人を尋ねて來た而して露國に革命が勃發して革命黨員は有頂天になつて歡喜して居ると云ふ事を聞いた―夫人は時至れりと（レーニンを呼んで我が）露西國の意あるやを探つて見んとして何時になくレーニンの腕にすがつて忍じたするとレーニンは露西亞が斯うなれば露獨間に直ぐ平和が成立するから歸るも來るも自由になると云ひ放つたので伯爵夫人はレーニンを騙すとすぐビューロー公の許に行つて

◆今後の方法　を相談して居ると折も折こて伯林政府から『如何なる代價を拂ふともレーニンを伯林に連れ來れ』と云ふ電報が來た而も其れが獨帝自身の勅命であつた其處で夫人はビューロー公と更らに相談して之からレーニンを伯林に連行する方法を講じたが却々レーニンは應じなかつたが夫人が巧みな言葉と（而して黃金の光の爲めに）レーニンは遂に伯林行を承諾した

實際其の際レーニンは歸國するに旅費に窮して居たのであつた其處で夫人のチャームと艶舌と而して黃金の光の爲にレーニンは遂に伯林に行つた之れ迄の伯爵夫人の活動は新かに書けば面白い事もあつたが唯瑞西のベルンと云ふ小さな街で

◆百鬼夜行の　群に混つて居た夫けで大した事もなかつたが夫人が百尺竿頭一歩を進めて愈々露都に乘り込んで神出鬼沒時には女官として露國宮中に住み込み時には彼の怪僧ラスプーチンに附け狙はれ又は有力なる新聞主筆を買收せんとし遂には皇帝を擁して首相の椅子を動かし突如四人組の壯士に襲はれ秘密書類を悉く掠奪され而も其れにも懲りず皇后とラスプーチンを接近せしめたなど其活動の結果第一回露獨單獨講和の密使を出さすべき眞の美人間諜の活躍は之からである

●筑前琵琶大會

水波旭子氏の主宰する旭會支部に於ては二十八日午後正五時より本町[illegible]館に於て筑前琵琶大會を開催し賑援として坂井旭才氏出演の由入場無料演奏曲目左の如し

▲敦盛（大中）▲寒梅入（山中）▲小督局（與田）▲本能寺（大津久）▲伏見吹雪（松田）▲和氣清麿（龜井）▲敍義網（山口）▲蒔内侍（松村）▲孤松御（藤田）▲乃木將軍（大津）▲湖水渡（山田）▲扇の的（藤尾）▲勸進帳（村）▲大高源吾（旭波）▲茶臼山（旭貴）▲項羽（盛旭貴）▲川中島（五枝水旭子）（五絃鸚援坂井旭水）以上

大阪切米　二十七日後場　二十五圓七十五錢

錢と七錢し一錢二面大阪後安移りに先き十錢より二十六錢と押し持局二十五錢を頭重き成行を示せり　場中限一節二十二圓十八錢九錢　十錢平均値段十九錢　先限一節二十二圓三十錢一錢三

仁川米豆取引所　二十七日の四月限　[illegible]

●連絡船上陸客

二十六日午前釜山入港高麗丸一二等客　一等（五名）木下[illegible]　二等（四十九名）中山宇三吉[illegible]　三等（三百四十五名）[illegible]　二十六日午後釜山入港[illegible]丸一[illegible]

新春文藝　課題（改）募集規定

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に雅號又は[illegible]名の外に住所氏名明記の事▲一等に五十錢書籍券を呈す▲[illegible]

氣象　曇後晴れ　（廿七日午後六時發表）　二月廿八日

商況

東京期米特電　二十七日前場　[illegible]

兵庫期米　二十七日前場　[illegible]

大阪三品特電　二十七日前場寄付　[illegible]

大阪株式特電　[illegible]

大阪期米特電　二十七日前場　[illegible]

下關期米特電　廿七日前場　[illegible]

雜報

●正米尙高構へ　三井筋の思惑說　[illegible]

●金巾弗々動く　更に一二十錢高の氣配　[illegible]

●支那粟氣締る　[illegible]

●小豆漸く上向　十五錢方引締　[illegible]

●白米値上げ　二十錢方引締　[illegible]　値一等米二十六錢　[illegible]

各地商況

群山米況（二十五日）　[illegible]

南大門の廻穀　[illegible]

仁川正米　[illegible]　强人氣を唱ふ　[illegible]

釜山穀物（廿六日）　[illegible]

生魚市場　[illegible]

●鮮白八十錢高　[illegible]　圓上二十四　[illegible]

下關相場　[illegible]

▲米價前途觀　[illegible]

仁川期米　▲二十七日前場（頭間へ）　[illegible]　十錢と七錢高に寄付　小雨前寄二十五大阪天候　圓六十七錢と昨止七錢高の入電　[illegible]　錢と二十八錢と押し　九錢と依然强硬の裡に伸悩の成行　[illegible]　▲當限納會す　十九圓七十五錢を以て納會　四十一錢と低落　[illegible]

市場雜觀　[illegible]　錢の最高値を示現し今前場更に二十錢と新高値を以て無事納會した　[illegible]　大阪安を見越し相場は反對に騰　[illegible]　氣を助長し稍熱狂　[illegible]　硬を持續し居るより値は警戒　[illegible]

仁川米豆取引所　二十七日の四月限　[illegible]

●世界的需要となれる燐寸
◇戰亂勃發前と今日及終息後の豫想◇

[illegible]從來世界で燐寸の供給國と云へば瑞典、英國、獨逸が主なるもので日本は左程重きをなす迄には至らなかつたのである、それが歐洲大戰亂勃發以來其の形勢は一變して今や日本の燐寸は世界的のものとなつて來たのである、此の趨勢で進んだならば日本今日の製造高では到底世界の需要を充す事は困難であらうと思ふ、然し今までは

◇彼の埃及の各地 からさへ盛んに取引を交涉して來て居る始末だが爲替の關係や其の他の事情で私方許りではなく一般同業者は領事館等の手を經ないものに對しては絕對に送品せぬと云ふ有樣で紹介して來たものに對して送品をすると云ふ事になればトテモ迄り切れない現狀である、從つて今や世界の燐寸界は日本の一擧一投足に多大の注意を拂つてゐるのである叙上の如く

◇日本燐寸が勢力を占む るに至つた經路は と云ふに、元來燐寸製造は軸木は勿論小箱大箱等に至るまで原料の殆んど全部は木材に仰がなければならぬ、故に燐寸の製造は其の國の木材の多寡に正比例して來るのである、此の意味に於て瑞諾兩國は世界に於て燐寸界の覇王とも云ふべき位置にあつたのである然るに一朝歐洲大戰亂の勃發するや位置の關係上右兩國を敵國側たる

◇獨墺側は密接なる交渉を 持つ事となり世界に於ける燐寸市場とは漸次遠ざからねばならぬ破目となつて來た、加ふるに戰亂の進むに連れて獨の潜航艇戰は激烈となり聯合國側の是れに對する防禦策は益々嚴重となり瑞諾兩國の商船にして是れが爲めに不測の災害を蒙るもの尠なからず且つ恰も海上封鎖に遭ひたるが如き狀態に陷りたる爲め單に燐寸界にのみ限らず一般貿易は多大の打擊を蒙つたのである、此處に於て

◇日本燐寸の需要 は頓に增大し今や全く世界的となつて來たのである、然れども此の間日本燐寸界の歐洲大戰亂より受けた苦痛も決して尠少なものではない、原料用藥品の輸入は杜絕し其の價格は一時十七倍迄であつたものが一躍して二百倍以上を呼ぶが如き大混亂に遭つたるが今では

◇落付いて七十圓 臺位であるが一時は製造業者としては多大の苦痛を嘗めさせられたのであると同時に需要者も困難苦痛に惱まされたのである、其の內に內地に於ける木材界は漸次減少し來り此の分にて推移せば前途に多大の望を囑する譯には行かぬ事となつて來た、故に同業者は何れも木材の供給に對して苦心する事となり今では鴨江材吉林材北滿材等に著目するに至つたのである、現に私の會社としては

◇北海道に五箇所 の工場を所有して居るが向後一年半乃至二年で閉鎖、最も長く保れるので五年を出でまいと思ふ程で他の同業者の所有せるものも多くは是れ以上のものはあるまいと思はれる是れを思ふと日本燐寸の前途は悲觀に陷りあるではないか、爰に於て木材に豐富なる方面に進展して來ねばならぬ結果となり滿洲材が逸早くも著目さるゝに至つたのである更らに戰亂との關係を考ふるに戰前の原料藥品約三倍に昂騰せる爲め其の賣價も從つて約三倍であるが一旦此の

◇戰亂が終息した 曉には果して如何なる狀態に立到るであらうか所謂自足自給で高價な原料を使用して製造したる日本の燐寸界は一度戰前の如く安價なる藥品原料の輸入を見ば果して是と競爭して敗れざるの覺悟があるか如何か此點は大に同業者のみならず國民一般が考へて措かねばならぬ點である兎に角に燐寸は日本の重要輸出品中特に重要なるものである何となれば紡績や綿絲布の如く其の原料を外國に仰ぎ是れに加工して輸出してるが如き物產とは大に異び原料加工等全部日本で出來るのであるから其の金額は戰前一千萬圓、今日では約

◇四千萬圓の僅少 なるものではあるが其の性質に於て異に重要輸出品として大に誇るに足るものである、今では既に製造原料中燐の天產物たるパラピンとチャンとが出來ぬ丈け他は皆內地製で十分であるによつて當局に於ても是れに對しては多大の注意を拂つてゐる有樣であるから戰亂終熄後と雖も現在の勢力を持續し單に戰亂中のみの世界的日本燐寸でない樣に各々努力したいものである

●長春より展望せる 露國の紛擾
西伯利亞勞農兵會地盤は日々に固し

◆西伯利亞は日を追うて多事ならんとする。長春巷間では近頃西伯利亞の暱、露貨の暱で持ち切られてゐるが、あまり事態が混沌すぎるので誰も斯うなると推斷を下せる者もなく、何うなるでしよう、獨立するでしようか、外國干渉は何の點迄行はれるでしようと云ふやうな話ばかりはずんでゐる◆是につきて最も暱の中心となり、又話の落ちつく所は日本出兵說であるが、此れに關しては發表の自由がないから、孰れ外國電報か何かで具體的に東京あたりの新聞紙上に現はれる報道を待つことにして置かう。兎も角も目下支那兵が哈爾賓で多少市を利かして居ると云ふもの、由來己れを知らぬるを以て有名なる支那官民の事だから斯く大業に自分の勝利を吹聽し、東清鐵道の全權でも取つたつもりでゐるが、之れ等も孰れ西伯利亞の方からカタがついて來ると共に實力相應の落ちつきを見せねばなるまい。◆最近迄チタは哥薩克兵の旗下にあつた樣に報せられてゐたが、過激派政府の勢力は次第に增大して遂に同市も勞農軍の手に歸したと傳へられた。勞農軍は司令官にヤンコフを戴き優勢なる兵力を以て捲土重來し忽ち哥薩克を一蹴したと云ふのだが、何分近來の過激派側優勢の報道は非常なる割引を附けて聽かないと、明日又何んな情報に出喰はすかもわからぬので怪しい點は充分あるが、然かし一般の報道を綜合して考へるに何うやら勞農兵會の地盤は日々固まりつゝあるやうだ。◆露都に於ては去る十九日限り列國大公使團が芬蘭に避難した筈だとの事だ是等は益々怪しい話のやうにしか受けとれぬが、同政府の外交團に對する果斷(?)な態度も今日迄屢ば報せられたところであるから、必ずしも虛報とのみ侮り難い點がある。此れはイルクーツク來電として露紙の報じたところであるが、今日通信機關が過激派政府の手に歸して居る上から見て、如上の報道が彼政府自身進んで行つたものとすれば露政府の對聯合國和關係、引いて露政府の對獨講和態度等に就て大に觀測者の想像を豐富にする材料たるは論を俟たれ

●米資輸入
滿蒙の新事業

米國人の支那に於ける潜勢力は近時漸くにして頭を擡げ來り滿蒙に於ても米國資本家の著目する事業漸次實現せられんとしつゝあるが最近に至り奉天に於ても二個の米人經營の新事業企畫せられつゝあり卽ちその一は米支合辦に係る華美銀行にして資本金は一千萬圓米資七割、支那出資三割として內五百萬元を東三省に投資する計畫なりといふ猶新事業の第二は既報せし如く東亞煙草に對抗すべき上海スタンダード組合の花旗煙公司の滿蒙侵入にして目下公司の支配人クローリー氏は奉天小西邊門外に事務所を設け著々支那人側の取引店を交涉中の由なれば今後此の種の米人出資に係る新事業は續々として出現すべき有樣なりと

●朝鮮米
●大連輸入の 輸入米の約九割

大連に輸入せらるゝ朝鮮產米は大連輸入米の約九割を占め居れるが近來在朝鮮精米業者は各自販路の擴張を圖り居れるを以て關東州を始めとし滿洲各地方及び山東方面にも朝鮮產米の輸出せらるゝもの

▲漸次多きを加 ふるに至るべし大連に輸入せらるゝ精米は大正五年度に於て十一萬一千九百三十一石五斗九升にして此の內朝鮮米一千八百十四萬二斗四升にして之れを大正四年の大連輸入の精米に比すれば二千二百石の增加を示したるが其の產米及び

▲輸出地別を見る に內地より二千三百石朝鮮より九萬八千二百石支那各地より一萬九百石にして卽ち朝鮮產米は全輸入米の約九割に上れり內地產米は之れを扱ふ手數に於て遙かに朝鮮產米に及ばざるのみならず其の輸送關係の便及び運賃の高低より見るも到底

▲朝鮮米と其廉 を比せられざる關係上大連に輸入する米高は朝鮮產米に遠く及ばざる處なり而して朝鮮產米の內其輸入量の最も多きは仁川米にして其の輸入量は總輸入量の約五割三分に及べり仁川米に次ぎて數量の大なるは鎭南浦米にして二割四分を占め其他釜山木浦群山等を合して二割三分の割合なるが大正五年度に於る

▲朝鮮の各港より 大連に輸入せられたる精米の數量は釜山七千六百三十石木浦三千八百十六石群山八千八百六十四石仁川五萬四千二百七十三石鎭南浦二萬四千三百石となり仁川米の最も多く輸入せらるゝ所以は其の風味の釜山木浦群山米等に及ばざるものあるも季節に由りて

▲其風味を變ず る事なく且つ運輸上の便宜運賃の格安及び需要の一定せる等の點に於て朝鮮各港よりの輸出米を凌駕せると其の大連輸出に最も古き販路の地盤を有する等が其の輸出最の遙かに他に超越せる主因にして木浦群山釜山米等は其の風味の佳良なる點に於て多くの嗜好者を有するも每年六月以降夏季に入りて其の風味に變化を來すを以て

▲十月新穀出廻り 迄其の需用著しく減少するは其の輸入量の仁川米に及ばざる主なる原因なりとの事なり又鎭南浦米は精白方法仁川に及ばず其の品質に於ても往々陸稻其他粗惡米の混入するを常とせるのみならず其の質概して硬く乾燥は充分なるも粘力少なく口觸り宜しからず而かも

▲常に品質の一定 せざるは取引上に不安を起さしむる虞にして又運輸上の便宜遙かに仁川に及ばざる點なり以上は大連に於ける朝鮮各地米に對する比較にして一般に信せらるゝ處の評なるを以て朝鮮各地米穀業者及び之れが指導監督に在る官憲の意を用ふる處あるべきなり近來新義州方面の精米業者も亦大連方面に向ひて其の販路の擴張に努力しつゝあり同地方產米は從來多く北

▲滿洲方面に輸出 せられ大連方面及び山東方面の輸入殆ど有らざりしを以て其の品質に就きて定評なきも米價及び運賃の低廉なる點等より將來相當の輸出あるべしと一般に期待せられつゝあり大連市の邦人逐年增加の一方なる上に鞍山站製鐵所市街の建設に伴ふ邦人居住者の激增等は將來朝鮮產米の需用著しく增加を來すに至るべし

●稻作と輸移出

平安南道に於ける大正三年より五年に至る各年中の稻作付反別及び收穫高左の如し

年別	作付反別	收穫高(米)
大正三年	五〇六、六七八反	四八一、六七六石
同四年	五二八、五一六	四七三、〇五〇
同五年	五三六、九三七	五一四、五一七

にして作付反別は年次增進し又收穫高は天候及び病蟲害等の障害に依り年々に消長あるを逸れずと雖も三年と五年の收穫高を比較すれば作付反別の增加に收穫高も亦比例するを見るべく更に一反步當收穫高は三年九斗五升、四年八斗九升、四合、五年九斗三升二合なり米の道外輸移出高は左の如し(單位石)

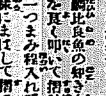
年次	輸移出
大正三年	九六、四七八
同四年	一三二、四一五
同五年	一一六、一九五

卽ち米の道外輸移出も亦年次增進の傾向なり

●間島輕鐵計畫

朝鮮咸鏡北道會寧より豆滿江を渡り間島龍井村を經て天寶山銅山に至る輕便鐵道布設の議は豫て日支合辦として計畫中のところ這回愈々北京政府の許可を得たれば不日工事著手の運びに至る可しと

日本人の支那に於ける活動を最も注意してゐるのは長江筋の英人の他は米國人であるさうだが▲最近米國もその張もちぎれ相な成金旗をかゝへて滿洲方面にも活動したい希望だといふ▲それに露西亞の東清線から西比利亞鐵道まで米國人が氣を揉んで居るのは唯だ〳〵感心の他はない▲然るにこれ等の西洋人の經濟上の活動には裏面に必ず基督教の布教する宣教師が居つて種々精細な畫策をするとは旅行者のいつも語るところである▲されば滿鐵沿線から四五十里も隔れた奧地に往つても右のそんな使命を帶びた宣教師が土地に永住土著して居て多年の經驗と科學上の統計等をすつかり調查して了つてゐる▲それで鳥渡旅行した米人と雖も氣象の觀測から地形から人情からすつかり掌をさすやうに知ることが出來て商賣上にも立派な計畫が成り立つといふ▲それに宣教師の御說教なるものがまた神の教によつた都合のよいはなしで支那人は何れも感服して了ふのださうな▲現に奉天附近にもそんな土地がある相だが彼の農安の如きは最も信仰者の多いところで近くは蒙古の鄭家屯奧地には東拓に對抗するやうな活動もあつたと噂されて居る



◇椎茸かまぼこ◇

鯛比良魚の如き白味の魚肉を長く叩いて摺鉢に入れ鹽一つまみ程入れて突く樣に摺り(味噌を摺る樣にまはして摺ると味がおちます)摺れましたら[illegible]少々加へて摺りまぜ[illegible]別に椎茸を細かにして置き柔かくなりましたら軸を取り一度茹でゝから味醂、醬油、煮出汁にてつぶりと味をつけましてさつと浴汁を拵へ巾の上に俎板に列へメリケン粉少々を撒りかけ其上に前の摺肉をのせ平にのばし蒸籠に入れて蒸します金串をさして何もつかぬ樣になりましたら取り上げ少さいのならば其の儘で、大きいのはよき程に切ります、これは口取りの取付として美味しい物です

演藝案內

櫻井町 電話八七三 大正館

本町 電話一〇五〇 壽館

明治町二丁目 電話二六〇番 浪花館
大阪落語若手一座 落語 手踊 音曲

黃金町 電話二二六六・二三六七 黃金館
大活劇『ファントマの手』 全四卷

京城本町 電話五九〇・一〇五番 有樂館
三大寫眞
新派 おはどん窟 四卷
舊劇 市川海老十郎一派出演 慶安太平記 五卷
西洋 惡魔の勘定日 五卷

平川 活動寫眞常設館 有樂館

今春の帶側はどんな物が流行します乎
過般來多大の犧牲と努力を以て弊店京都仕入部に於て有之日々新製品入荷致し居候珍柄製織中に來る中旬には全部品揃可致候に付き三月二十日より新柄帶地陳列會相催し候間何卒御貴臨御批評を賜り度奉希上候
三中井吳服店
京城・大邱・釜山

質 大塚質店
京城明治町二丁目元瞭町
電話一八四九
◎戰慄すべき火災の防備に就て完全なる倉庫あり
◎多額の融通

朝鮮興農園
種苗代價表 無代進呈
農用種子 果樹苗木 園藝植物類 山林用材樹種 農具肥料造林請負

腦神經病特効藥
キット効驗現ろ！
健腦丸 KENNOGWAN
一週分を試みよ！
腦、神經衰弱症 大酒家、喫煙家、常に頭腦を過勞する人々よ。常用せば怖る可き中風卒中を未發に防ぎ便通を快くし記臆力を增進す
效能 ▲腦充血 ▲逆上 ▲頭痛 ▲腦膜炎 ▲耳鳴 ▲鬱憂 ▲神經痛 ▲眩暈 ▲健忘 ▲腦卒中 ▲不眠 ▲便秘

電話二二七七番 京城(壽座隣)
山田耳鼻咽喉科
福田齒科 醫院

大好評傑作の 滿員御禮
袈裟御前
愈々愈々今明日限り
連日滿員續き厚く御禮申上候
京城 黃金館

人事 百般 周旋業
萬年社
京城府明治町貳丁目 電話長一八四四番

優等清酒
富安本店
慶尙北道〔?〕郡山川村 醸造元
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店 電話[illegible]

外科 花柳病 內科 小兒科 婦人科
宮崎醫院
京城南山町二丁目電話三〇六八番

商業登記公告
一 振威興農株式會社變更登記
大正七年貳月拾四日各株ニ付金九拾五圓拂込ミタルヲ以テ株金總額ヲ金參拾五圓トシタリ
右大正七年貳月拾六日登記
京城地方法院 平澤出張所

決定
破產者 李珏均
右大正六年第壹號破產事件ニ付破產管財人星野正一郎ノ申請ニ依リ債權者集會期日ヲ左ノ如ク決定スルコトニ變更ス
大正七年二月二十五日
京城地方法院

垈及家屋競賣
京城府黃金町一丁目百番
一 垈 九十七坪
一 木造瓦葺平家建四棟 十六坪
一 煉瓦造二階建一棟 [illegible]
外
右入札期日大正七年三月二日午後二時京城府黃金町二ノ一四八辯護士赤尾虎吉方ニ於テ入札賣買ス

▲廣告▼

塚原卜傳

悟道軒圓玉口演

第一席

今回より日本國一武藝の達人として、其名を後世まで傳へましたる塚原小太郎勝義の事蹟を詳細に講演いたします、文武両道は車の両輪の如く、無くて叶はぬもので取分け元龜天正の頃は英雄豪傑雲と起り星と飛び、日本國中如何なる山の奥までも、木劔竹刀の響を聞かざる處なし、武術の精華茲に至つて其極に達した時代でありますが、其中にあつて一國一地に振ひたは我が塚原小太郎勝義後に入道して卜傳と號した人でございます、此人は神陰流から出て卜傳流といふ一派を立てました、父は佐竹の一族にして常陸國塚原の城主塚原土佐守勝重と稱し、勝重の長男を帯刀勝隆、次男が即ち小太郎勝義天文六年正月十七日に出生いたしました、父土佐守勝重、小太郎の武藝を好むのを知つて、十三歳の時に其の頃同國鹿島の城主なる飯篠山城守家直入道長威齋の門に入れ稽古をさせましたが何分師長威齋老體にして小太郎の激しき太刀先を受るにも困難である處から天晴天下に名を成すべき者を我老年の稽古では物足らぬであらうとお察しになつて當時神陰流の開祖として日本隨一といはれたる上州箕輪の住人上泉伊勢守秀綱殿にお頼みになつて、小太郎勝義を其道場へ遣はしました、翌年の正月十七日稽古初めの日、勝義十八歳で木劔を執り、師上泉伊勢守殿と三本の手合をいたしたる時に面を一本取つて其方は師に優るといふ御賞美の言葉があつたといふ、故に三箇年の間に神陰流の極意秘傳に及んで一萬有餘の門人中其右に出づる者なく人呼んで上泉の龍虎と賞贊するやうになりました、即ち小太郎勝義を龍と稱し、今一人は出羽國上戸澤の住人[illegible]景兼、此人を虎と稱す、また上泉の四天王といはれるのは第一が武州八王子の郷士神後伊豆、第二が大和國柳生庄の住人柳生又左衛門、第三が京都今出川の住人禁裏北面の侍にして丸目藏人、第四が上州厩橋の人で疋田文五郎といふ、其外に八天狗といふのがある、第一番が淺山三五郎從一傳齋、第二が戸塚源藏、第三が出羽入郎、第四が宮原一傳、第五が西條熊之進、第六が相原新藏、第七が神谷傳藏、第八が千葉小六郎と云ふ、其外に一騎當千と聞れたる門人總て一萬千三百有餘人、實に上泉の道場といへば日本國中に響渡つて恐れざる者なく、誰一人來つて立合を望む者もない、偶々立合を望む者あるも仲々及ぶ處でないから皆な其門に降つて敎へを受ける位ゐであります、處が茲に其頃出羽國田川郡土佐の上縣、梵字川の水源なる羽黒山谷和川の洞、大黒堂の別當膝丸入道圓海といふ荒法師がある、其弟子で毘沙門堂の滿海、辨天堂の龍山、龍王堂の金山、其外讃岐坊智海能登坊智海などいつて一流の武藝に秀でたる者二百八十餘人、總て羽黒の大衆と稱する者は鎌倉時代から諸國で持餘した荒法師でございますが戰國の世となつては益々武藝を磨き平時は諸國を横行して道場を暴し、事ある時には大名から頼まれて合戰もする僧ではあるが經文には用のない連中、不思議なるは此膝丸入道六尺の金剛杖を使ふ事に妙を得て居る辨天堂の龍山は鎖鎌の名人之れが諸方の道場を暴し廻る、散々亂暴した上で先方が及ばんといふ事を見抜き金子を借用したいといつて多くの金を持つて行く、處が或時上州へ來て足を止め相變らず道場を暴して居る中にフト耳に入つたの[illegible]の豪傑も流石に箕輪の上泉には恐れをなして居る、上泉の道場へは足を入れぬといふ評判だ之を聞いて膝丸入道烈火の如く憤り『よし其儀なれば上泉の道場へ乘込んで我武術の玄妙を顯し伊勢守を打込んで諸人の眠を覺して呉れん』とあつて十八人の門弟、何れも抜擢優れたる者ばかりを引連れ、上州箕輪へ乘込んで參りました。

暦

三月一日 九星

舊正月十八日丁未

本命五黄八方取先ふ

▲五黄● 取こし苦勞の[illegible]南方に[illegible]婚姻日轉居旅行入學名弘[illegible]吉[illegible]しなし▲六白● [illegible]女子の獨立業等萬吉▲七赤● [illegible]の[illegible]轉居行 商入門名弘家作求職婚姻 ▲八白● 大風呂敷の[illegible]を[illegible]せぬがよし▲九紫● [illegible]事件土工求職[illegible]物に[illegible]の日▲一白● 一寸邪魔する[illegible]一切のかけ事を禁ず▲二黒● [illegible]を防ぐべし▲三碧● 互に迷惑の事有[illegible]なし▲四緑● [illegible]はぬ事有[illegible]にせらるべし

貳月廿七日より診療開始

龍山 松村醫院 松村三省

ドンナに冷えてもスグ温まる

女のくすり 命の母

價 [illegible]十錢、廿五錢、八十錢、一圓五十錢、三圓、五圓(全國有名藥舗にあり)

本舗 東京京橋新榮町 笹岡藥房

毛皮なめし並に仕立

鳥獸剝製 剝製並修理

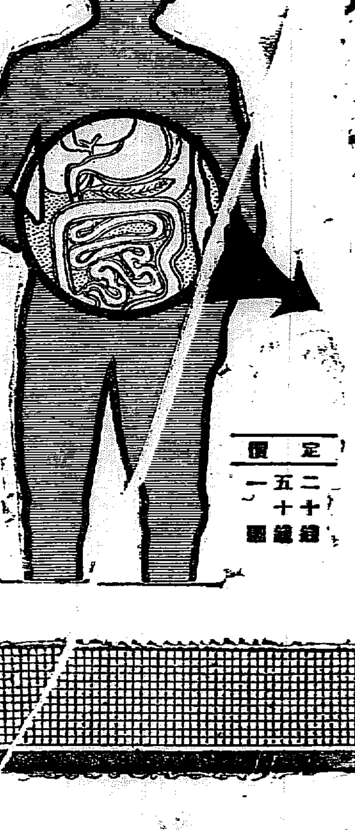
京城本町二丁目

鳥獸毛皮貿易商 樽元商行

胃病良藥

ホシ胃腸藥

胃腸の障害は總て私にお任せ下さい



私の名はホシ胃腸藥

消化不良▼溜飲吐瀉▼飲過食過

悪酔宿酔▼悪心胸痞▼食もたれ

胃腸カタル▼胃弱胃痛▼等の時

かゝる時 優れた効驗を顯します

定價 二十錢 五十錢 一圓

東京京橋南傳馬町三丁目

星製藥株式會社

電話京橋一七八五

振替東京二〇五二二

諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御取扱可申候

貯蓄預金 元金壹圓以上何程ニテモ御預申候 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘

株式會社長崎貯蓄銀行代理店

株式會社十八銀行京城支店

京城黄金町 電話四二〇番 五八〇番 振替貯金口座京城八一〇番

同 龍山出張所 龍山元町二丁目

大正七年春季號 園藝カタログ (無代進呈)

一切の花卉蔬菜の説明と培養法を記述し、代價を低廉にし寫眞版を多数挿入して共ン形容を彷彿たらしむ

▲郵送料二錢添へ御申越次第無代進呈仕候

東京京橋區日吉町 國民新聞社勸業部

發賣元 京城太平町一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通)

電話二六〇〇番 一八番

酒井婦人病院

院長 酒井一郎

▲入門者募集 ▲出張稽古開始

都山流 尺八指南

京城南山町二丁目一九 直門 佐藤都令

入院隨意

京城 久枝肛門病院

四月上旬より滿洲各地患者各位の懇望に依り再び出張の豫定

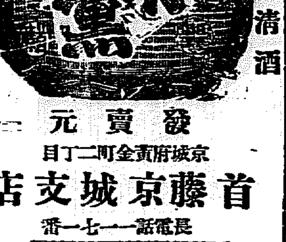
痔疾(注射)專門

京城明治町二丁目本町より入る中程(電話二一〇二番)

イケダ小兒病内科醫院

池田季[illegible]

京城二越呉服店前へ入る旭町四丁目 電話(醫院)二[illegible](自宅)[illegible]



醇良無双清酒

衛生無害品質無双

發賣元

京城府黄金町二丁目

首藤京城支店

長電話一一七一番

釜山港幸町

首藤釜山支店

内科 胃腸病

診察夜九時迄

京城本町一丁目

石川醫院

電話一一七〇 九一九

京城日報　第五版
二十八日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

嚴肅なる壓迫
在京一記者

今年は國民生活の上に或る嚴肅なる試練として國運の逆無き壓迫を感ずる年である。

△歐洲戰の延長●● 歐亂勃發後は其影響に依りて善きにつけ惡しきにつけ、日本國民のみならず參戰各國民は勿論中立國民と雖、有形に無形に或壓迫を感じた、而も我國は極東に位置する關係上、青島の獨軍を討滅し南洋方面から獨艦を驅逐して以來、時局の影響は寧ろ樂觀の材料を齎らすものが多かつた、爲めに國民生活の上には或壓迫を感じたけれども、嚴肅に國民の心情を囚ふる程でも無かつた、然るに露國最近の情勢は我國防の上にも何等かの手段を講ずるの必要を感ぜしむるに至つた、於此歐洲戰爭は極東に延長されつゝありと見るべきであらう、尤も大正三年青島戰が行はれたけれども夫れは事實に於て歐洲戰の延長で無く言はゞ飛火の如きものであつた

△東部の經濟戰●●● 故に一度獨逸の勢力を東南洋から掃蕩し了ると交戰國の一員であるといふ我國の立場は、貿易其他國際關係に於て我國は非常に有利の位置に立つたのである、然れば歐洲戰の經過から戰後の國際關係に就ては、絕えず一種の不安なり壓迫を感じつゝも、國の上下は常に活氣に滿ち、以て今日に及んだのである、處で露獨の講和談判は甚だ憂懼に堪へざるものがあつたが、果して獨逸の勢力の東漸を可能ならしむるの結果を遂き、我國民は自衛上適當なる手段を執るの餘儀無かるべきかを想像するまでに成つた、但し此事に關しては差當り別に國民の心を痛ましむる必要もあるまい、唯從來其の影響を受くるに過ぎなかつた、極東に歐洲戰の延長されたことを心外とするのみであるが、問題は極東の大陸に於て、戰後永く獨逸に對し異趣の經濟戰を試みざる可からざる素因を成しは爲まいかと思はるゝことである

△須らく準備を要す●●● 開戰前、獨逸の經濟的勢力が露本國に於て如何に横暴を極めつゝあつたかは玆に絮說するに及ばない、併しながら夫れは要するに經濟的勢力に過ぎなかつた、殊に極東の需領に於ては單に獨逸製品の跳梁を見るのみであつたが、若し一朝獨逸の軍隊が西部に入り、餘勢を遠く西伯利に延ぶるに至つたならば、拔目無き獨逸は、此方面に對する領土的野心は有ち過ぎるとしても、少くとも政治的手段に依て經濟的根據を築成すべきは想像に難からざる處である、倘しさう成つた曉、我國に於ては之れに對應する準備が有るか何うか、單に獨逸の製品に對する對抗の準備のみでは無い、凡百の意義に於ける經濟戰に備ふる處が無ければ、我國の前途は洵に心細いものに成る、願くば斯る杞憂を杞憂たらしめたいものである

上海邦人發展

上海にては去る十四日汕頭の強震にて同地多數の死傷者ありたる爲人心恟々として謠言蜚語百出し斯の如き大地震は古來稀なる處なれば畢竟何等かの前兆なるべし或は某々國の軍隊が汕頭其他南支一帶を占領せんとするより天地之を豫知せしむる爲の地震に非ずやなど囁し合へるは滑稽の至りなるが兎に角該地震が上海方面の人心に影響する處頗る大なるは意外なり上海に於ける日本人は近來益々增加して領事館への屆出一萬二千人なれども其の實數は殆ど二萬人に達すべく殊に近來上海取引所を始め日本人の事業經營が大に進捗し三井、鮮銀其他日本の有力者が次第に投資し來る爲め從來の如く日本人を貧弱視する觀念を一掃し所謂日支親善の上にも頗る好影響を與へんとしつゝあり殊に去る八日の如きは孫洪伊、馬君武、徐謙、居正、丁仁傑等の諸氏主催にて日本官民の重なる人々を登路七號樓に招待して日支交驩の一大懇親會を開き日本人側よりは岸副領事若松領事官補、松井陸軍中佐、白木海軍少佐各新聞記者等出席せり（上海特派員發）

米人滿蒙進入

古來米國人は支那に對して夙に宣教師等を派遣し優美なる手段を以て譲らず知らずの間に支那民族に多大の感化を與へ居る事は世人既知の事實なるが多年支那に在りて常に滿蒙擡頭の機を窺ふことを怠らざりし米人等は最近滿蒙時局の開展に伴ひて漸やく擡頭し來たらんとしつゝあり、而して今や米國人の新勢力は遠慮なく滿蒙に勃興し來り最近二個の米人新計畫は著々進行しつゝあり、彼の華美合辦銀行の計畫は資本金一千萬元米出資七割支那出資三割内五百萬元を東三省に放資する豫定にして本店を天津に置き營口、奉天、長春、哈爾賓其他の地に數箇所の支店を開設するの計畫にして關係米人は目下奉天に於て創立事務進行中なり又上海スタンダード組合花旗烟公司の滿蒙進入計畫奉天に於て著々進行し既に奉天小西邊門外元佛國領事住宅跡の家屋を借受け近日同處に事務所を開設する筈にて同店募集中なるが申込者頗る多數なり[illegible]而して花旗烟公司には苦力烟各種あり近く他烟と大競爭を開始するに至るべく右米人の二新計畫は極めて確實の事實にして毫も其前途を疑ふの餘地なきのみならず該計畫實現の曉は之れが影響大なる者ある可しと

忘機吟壇

畀友在墨陀二首　江原如水
未見漢陽春一枝。南山北岳雪猶遲。江東詞客夢應暖。正是梅花欲發時。
寒温遲速本天休。道青皇有私時。凍雲寒月恨無限。願贈江東梅一枝。
許曰二首文情相融、眞氣流露

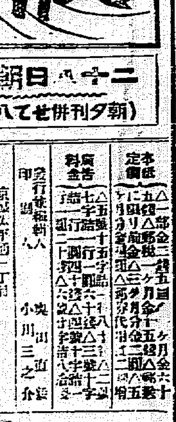
春日寄人　藤倉蔭
漢陽春色太遲遲。寒勒吟心懶把卮。料識江南梅正發。無端昨夜夢清姿。
許曰無聊之境、相思之情、寫得工整

春夜訪僧　大久保晩香
宿鳥林下夜朦朧。孤杖排雲訪梵宮。石佛影幽花界路。木魚聲度月溪風。既無蓮社拒靈老。却有胞巢談白公。禪味詩情三昧地。篆香茶氣一如中。
許曰心花意蕊、家閑華下、又見經營之妙

社告
寫眞部員の地方巡回撮影開始

◇今回吾社は地方愛讀者各位日頃の愛顧に酬い且つ御便宜を圖る目的にて技術熟達せる本社寫眞部員を各地に特派し巡回撮影を開始致候
◇巡回日程及び寫眞部員氏名肖像等は追て社告可致候に付部員出張の節は陸續御用命被下度希上候
◇撮影料金は新舊京日、每申讀者に限り特に實費にて撮影に應ずる事と致候に付撮影御希望者にして併せて本紙讀者たらん各位は此際速に京日、每申、各地販賣店に御申込被下度候
◇巡回日程以外至急撮影御希望者に對しては特に日程を繰合せ出張撮影可致候に付御希望者は直ちに本社へ直接御通知被下度候
◇巡回寫眞部員は愛讀者以外の人と雖も相當料金を申受け撮影御依頼に應ずる事と致候尚ほ寫眞銅版、亞鉛凸版、コロタイプ等の御註文にも應ずべく候に付何卒御下命被下度候
◇撮影料金及び銅版凸版コロタイプ代價は左の如くに御座候
寫眞撮影料金＝中版（參枚壹組に付金一圓五十錢 但燒增一枚に付金三十錢）
尚ほ銅版、亞鉛版及び繪葉書コロタイプも實費にて御依頼に應じ申候

京城日報社



鎹（四）
布施生譯

聞も終らず證備は飛上つて『うむ其曲者を首尾よく君が——』『いや首尾よくとの御言では痛入ります、實はもう少しで踏捕る所を運惡く取逃しました——』『何だ取逃した……』『折角犯人の姿を認めて取逃す。おいそれで言譯の立つと思ふか』『いや所長申譯の立たない事は私も知つて居りますですがそれが實に不思議で——』『どうしたと云ふんだ』『いゝえ昨晩十時過少し思惑があつてルワプル宮の片陰に隱れて居りました。少時すると脇から怪しい男が背後を見返り〱彷徨ふやうに歩いてゆくのを街燈の光で見透すとそれは待つてゐた景山公爵で』公が其晩鎹を持つて情婦の許へ忍ぶ事は夙に嗅附けておいたのでした、來たなと身繕ひする間もなく、暗い片闇から猪のやうに飛出した男があつてあつと云ふ間に公爵を捕作すると衣嚢に入れてあつた鎹を取つて一目散に逃出しました、それと私は躍出しましたが何時もと違く面喰つて運惡く石に蹴躓くと器量惡く轉びました、それでも直に起上つて追驅けながら、曲者だ曲者を看附けた、出會へ〱と街々に鳴渡る程に喚鳴りました、見ると曲者は半町ばかり先を驅けてゆく樣子の其内、私の合圖が徹つたものと見ゑ街々から警備の者が追々に驅つけます。私は今度こそと思つて愈々追驅けて往きますと彼是十町ばかりも走つて二町へ差懸つた時分に流石の曲者も疲れたか、段々私との距離が近くなつて今十歩ばかりで私の手が曲者の肩に屆きさうになりました』釣込まれて息もせずに聽いてゐた體佛は思はず立上つて兩手を出春の肩にかけ『そこで首尾よく？』『さあ私も最早しめたと思ひましたが其時です御承知の通り彼處は左側が石垣になつてゐます、其石垣へ曲者が身を寄せたかと思ふとついと消ねて仕舞ひました』『何だ消ねた？』『え』『はい私も自分で氣が違つたかと思ひました、其内一同の者も驅付ける、景山公爵も拔刀で追驅けて來られる一同で松明を翳すやうに照して委しく石垣を調べてみましたが勿論人間が消ねて無くなるやうな孔はありませんし其邊の地面だつて孔も何もありません』

本紙定價 一ヶ月金五十五錢
廣告料 ……
發行兼編輯人 奥田直[illegible]
印刷人 小川三之介
發行所 京城大平通一丁目 京城日報社
電話 編輯 …… 營業 ……
振替貯金口座 京城二〇〇番

朝鮮總督府營林廠大口取引

◈木材は營林廠
▲價格低廉
▲寸法正確
▲品質良好

弊居儀今般朝鮮總督府營林廠大口取引の認可を得同廠木材の販賣を開始仕り候間精々御引立奉上度此段謹告仕り候也

朝鮮總督府營林廠大口取引店
合名會社 鈴木商店 京城支店
京城本町二丁目九十二番地
電話長一三四七番
電話長一四二二番
電話長二二九〇番
電話長二九二四番
振替口座京城三九五一番
受信略號ケイゼウカネタツ
發信略號（タツ）又は（タ）

◈愈々建築期節來る

化學工業講義錄

現代唯一の要求に依て生る 尋常小卒業通學の餘暇無き店員職工徒弟社員地方青年苦學生の爲に開講したる化工講義錄は時代の要求に適する 入學の絕好機

今入學者に大特典あり 往復葉書で申込 見本附規則書進呈
講師 東京帝大 博士學士 京門大家數十名
▲十ヶ月卒業 ▲月謝五十錢

東京日本橋南槇町 化學工業學校

「ホーオー印ミルク」は!!

◈外國製品を凌駕し輸入を防遏しなり
◈品質優秀名聲津々たる
ホーオー印ミルクを御愛用あれ……

發賣元 京城本町一丁目 株式會社 明治屋京城支店

越

三月一日より
新柄帶側陳列會

京城 三越呉服店

京城電氣會社製 特約販賣
コールタール
龍山漢江通り八 電話四九番
金物商 島田忠作商店

週刊 京城新聞

▲一部金拾錢一箇月金參拾錢郵税無料
社長兼主筆 青柳南冥 每號四六四倍版十六頁

我社至誠、從業多年、先輩及讀者各位の眷顧に依り、大陸の春風今や稚松を撫でゝ、亭々將に伸びんとするの機に際會せり、四年前讀者に誓ひ數年ならずして之を日刊にす可く期せしも我社の微力は蹉跎として準備未完、豫期は南柯の一夢に過ぎざりき

今回意を決し、全然週刊として發展せんことを企圖し自今週刊の特色を發揮して以て我大正の盛世聖代の治下に操觚の本分を完ふせんことを期し、既に工場の擴張社員の增聘を敢行し來る三月十日を卜し紙面を刷新改善して每號之を四六四倍版十六頁以上と爲し

▲政治 ▲時事 ▲經濟產業
▲教育 ▲宗教 ▲衞生 ▲人物評論
▲政黨 ▲史談 ▲社會 ▲公開狀
▲家庭 ▲文藝 ▲演藝 ▲花柳界
▲娛樂 ▲商況 ▲物價 ▲相場

の各部に亘り清新にして而も實益と興味とに富める記事を蒐錄し依て大方讀者の冀望に添ふものあらんとす、乞ふ之が實現の期を俟たれんことを

大正七年第二月
京城黃金町二丁目
京城新聞社 電話一九三〇番

▲主筆を聘す……四月以後主筆を聘す希望者は豫め履歷書を差出し置かれたし

農業世界增刊

新案檢索 作物園藝肥料

■穀菽・野菜・果樹・庭樹
■盆栽・草花・特用作物等
百五十餘種を列擧し詳細なる說明を附し作物栽培上の秘傳を掲げて實際の顧問たらしむ
價金廿五錢 税二錢 二月十五日發行

東京本町一 博文館 振替東京二四〇番

第四十回帝國議會 (東京特電)

衆議院(廿七日)

▲委員會 二十七日、特許法中改正法律案外三件の委員會、同業組合法改正案委員會、織物布檢査所設置に關する建議案委員會を開會せり

貴族院(廿七日)

▲各分科委員會 廿七日豫算第一、第四、第五分科會委員會を開催せり

露國騷亂情勢

▲露國既に亡し 何人の爲に戰ふべきか

露都來オムスク、イルクーツクより西伯利亞一帶の視察を爲し歸任せる金井鐵道院參事及び滿鐵駐在中村工兵中佐滿鐵長春工廠長等の談に曰く戰線より自由に歸還せる露國兵は最早戰ひに倦み疲れ士氣全く沮喪し居れり彼等曰く『露國既に亡し、何人の爲めに戰ふ可きか』と又西伯利亞地方の資産階級は『此際獨逸なると日本なると及英米なるとを問はず此秩序を恢復し生命財産の保護を與ふるものは我等の爲めに天より降されたるツアールなりき』と何露國刻下の現狀は獨逸の勢力恰も怒濤の如くに押寄せ來り其活動亦着々進捗せり是れ我國に取りて實に重大なる事柄なりされば我國は自衛上何等かの手段に出づるの已むなきに至るやも知れずと觀測さると(東京特電)

▲露都全市を擧げて 革命隊組織

露國政府は二月二十四日午前七時中歐同盟國に對し無線電信を送り獨逸の講和條件を承諾せることを通告したるが之れに對し獨逸は未だ回答を爲さず一方獨軍は露都に向つて前進を繼續しプスコツは二十四日午後六時獨軍の爲め占領されたるよりペテログラアドの革命派は非常に是れを憤慨し市民を動員して是が防禦の爲め有力なる準備をなしつゝあり各階級の人民は長縦列を作りて他兵工廠前に集合し武器及び軍需品を得て任務に就かんと待ちつゝあり全市を擧げて外敵の襲撃に對し強硬なる抵抗を爲さん爲めに各國國證及び革命隊を組織せり(露都電報)

▲西伯利鐵道不通乎

廿七日奉天總領事館著滿洲里來電に依ば同驛以西の西伯利亞鐵道は目下列車の運轉杜絶せるものゝ如し又イルクーツク驛にては東行旅客に對しザバイカル州のチタ以東の切符を發賣せず亦トムスク形勢不穩なりと(奉天特電)

▲貿易市場開設承認

露獨講和條約正文の外別約三箇條あり是に依り露國は獨逸の要求せる東西西伯利亞及び沿黑龍州に對し特に數箇所の貿易市場を開設すべき事を承認せり(露都電報)

◎張督軍に出兵電命

支那政府は北滿地方の動搖に備ふる爲め廿六日張奉天督軍に對し出兵の電命を下せり(奉天特電)

◎津浦線鼠疫警戒

廿五日督軍府にて防疫會議を開き安徽省に發生せるペストに對し津浦線の總驛に檢疫所及び停留所を設け南方よりの旅客を五日間停留する事、右檢疫所落成迄津浦鐵道南端の列車運轉を留むること、山東省防疫總局に日英米三國の委員を顧問として囑託し省內各要所に檢疫所を設け旅客を檢査する事等を決定せり(濟南電報)

●米鐵と新造船

米鐵五十五萬噸(米鐵[illegible])[illegible]

材が輸入せらるゝこせば孰れに受の豫定が昨年と大差なきは全く材るを知らば進んで註文を出だすも[illegible]くる本年海運界の影響は[illegible]料關係による卽ち米鐵の輸入不可の元より多かるべきを以て米鐵輸[illegible]らず禁鐵以來頗る不振の境にあり能にして造船業者は[illegible]て材料を入後における本年下半期の造船界[illegible]し造船所は既に再び活躍を開始す完備するてこ困難なるため[illegible]の活躍は蓋し目覺ましきものあ[illegible]

大阪商船 日本汽船 鈴木商店 三井 [illegible] [illegible]

[illegible]の內大阪商船の新造船は六千五百噸乃至一萬四千二百五十噸の大船のみにして內二隻は八月及び[illegible]月に起工の豫定なるを以て此の[illegible]一萬噸の中型及び大型船にして大阪鐵工所の契約に係るものなるがイシヤウード式の最新貨物船なる鈴木商店は石川島造船並に淺野[illegible]の大々的計畫に對して後者が唯[illegible]隻の新造船をも有せずして積極的方針と消極的方針の極めて明瞭なる對照を示す而して大阪商船は[illegible]造船所に註文を[illegible]

◎段氏馮總統を說く

段祺瑞氏は露獨講和に依り獨逸勢力の東漸しつゝある目下の形勢を憂慮し國防の極めて緊要なるを馮總統に說き此の際日本と協力し北滿洲及び沿黑龍江州の境界其の他臨機出兵問題に就き隔意なく交渉すべしと建議せり(北京電報)

◎徐氏露國境視察

段祺瑞氏副官徐樹錚氏は二十六日夜來奉北京總統府顧問阪西少將附飯田副官と共に菊地大佐を訪問し更に北方西伯利亞國境を視察す可しと(奉天特電)

◎田尻子被任

田尻稻次郎子は廿七日貴族院令第四條に依り貴族院議員に任ぜられたり(東京特電)

◎三將軍の巡視

川村元帥、大迫、大谷兩軍事參議官廿七日來阪廿八日砲兵工廠に赴き諸工場を巡視す(大阪特電)

◎二將軍北行

關東都督府參謀長高山少將並に遼陽第七師團長藤井中將は二十七日午後北滿視察の爲め奉天を通過し北行の途に就けり(奉天特電)

◎浦鹽航路繼續

大阪商船會社にては政府より何等かの沙汰あるまで浦鹽航路を繼續すべしと(大阪特電)

◎神戶電鐵賃銀均一

神戶市電鐵にては本年十月一日より乘車賃銀三錢均一(但通行税は別)實行に決定せり(神戶電報)

◎青木農務課長

青木總督府農務課長は廿七日夜來奉直ちに大連へ向け發途せり(奉北特電)

◎新橫斷航路 神戶船會社計畫

鈴木久原西脇三店合同の日本海橫斷新航路計畫說は其後の情報を綜合するに單に風說に過ぎざるものゝ如きが別個の計畫として神戶の組合汽船會社を中心とする有志發起の下に有力なる日本海橫斷航路を開始すべく敦賀の安倉兵三郎氏は最近東京大阪神戶地方に出張運動中なりとの說あり目下の所成否未定なるも若し開始する事とならば朝鮮總督府の七年度豫算に計上しある橫斷航路補助金の下附を局に申請し來るべき狀勢にあり而して該目論見によれば咸北咸南方の生牛は敦賀に移入して鐘淵の製造に充て以て海軍者の需要に應ずべく咸北生氣福の陶土の如きは二萬噸內外を石川縣に移入する見込なるものゝ如く組合汽船會社よりは二千噸級船を就航せしむる筈なりと

▲計畫はあるらしい 某當局者談

右に付某當局に就き聞くに組合汽船會社を中心とし日本海航路を開くべき計畫ある事は承知したり又或は實現を見るやも圖り難し然れども右計畫者より航路開始の趣旨を陳じ其實行をなすべき前提の下に七年度豫算に計上されある日本海橫斷航路の補助金下附を求め來りし事は未だなし命令航路の受命者は基礎鞏固にて多數の船舶を有するものなるを要す何となれば就航船が遭難若くは他の事故により航行し得ざる場合の如き直ちに代船差立てを要すればなり新計畫の會社がいかなる實力を有するかは予等は未だ與り知らず

◎鮮銀券縮少

朝鮮銀行券の發行高は既に舊曆年關を過ぎ各地商況漸く閑散の季節となり各銀行は貸出しより寧ろ回收時ちなるを以て漸次縮少の狀勢にあり乃ち二月十七日より二十三日に至る一週間の發行平均高は五千九百九十五萬圓にして昨年十二月初旬以來繼續せる六千萬圓臺を割れり唯物價騰貴の趨勢持續せる結果其の縮少程度は例年に比し遲緩なるが如し

◎期米益々高し

二十七日仁川定期米前場の高値は二十二圓三十八錢を示し之れを前日の後場高値二十二圓二十三錢に比すれば十五錢方の上値にあり此の期米高に伴ひ正米も氣配強硬にて市中小賣白米は上物二十六錢となれり

◎造林貸附統計

總督府山林課に就て既往七箇年間に於ける造林貸附件數及び其面積を聞くに四十四年度の出願百三十八件許可面積二千百七十八町步より漸次增加し出願件數は大正四年度の九千八十二件を最多とし翌五六兩年は出願者無く未決の分を處理せしのみ即ち左表の如し

年度	出願件數	許可	不許可	許可面積町步
四十四年度	一三八	一〇〇	三八	二、一七八
大正元年度	三、三三四	三、二二三	一一一	一二六、九〇二
同 二年度	八、一〇九	八、〇九三	一六	一二六、九五一
同 三年度	七、三七四	七、三四九	二五	九七、三六八
同 四年度	九、〇八二	九、〇四六	三六	四八、三三三
同 五年度	—	六、三七八	—	六〇、七八一
同 六年度	—	二、一三〇	—	四三、三六九

今本表大正元年度中十萬二千町步同二年度中二萬五千八百八十二町步は帝國大學演習林として無料貸附せるものなりとす

◎檢查剩米寄贈

群山米穀商組合にては同地商業會議所に對し諸調査費として客年中に於て米穀檢查剩米より生せし收入金千五百八十八圓六十錢の內諸經費を控除せる殘高千二百五十五圓九十六錢の四分の一卽ち三百十三圓五錢を寄贈せるが本年も引續き寄贈すべく去る十六日午後二時より同組合に役員會を開き臨時組合長以下十二名は協議の結果附帶條件として

一、湖南沿線及び仕向先等を調査し每月組合に報告すること
二、群山よりの輸移出高及び仕向先調査毎月報告をなすこと

の二事項履行を附し一箇年金三百圓を寄贈するに決したりと

◎私立學校設置認可

大正六年五月十四日以後京城府內に於て私立專門學校及び私立高等普通學校の設置を認可せしものは南大門通私立セブランス聯合醫學專門學校、壽松洞私立普成高等普通學校、苑洞私立徽文高等普通學校の三校にして右の內私立徽文高等普通學校は本年四月一日より開校する由

◎協議員滿期調查

京城府協議員中來る三月中一名四月中數名の任期滿了者あるを以て近く任命を見る筈なるが內部に於ては目下是が調査中なりと

◎學齡兒童屆出數

京城學校組合にて二十六日迄に受つけたる入學兒童總數は一千百五十名にして豫定數に對する未提出分は約二百名なりと

◎京管貨車出庫

京城管理局草梁分工場に於て製作中なりし蓋貨車五輛は二十一日落成せしに付出庫せりと

◎清津滯貨近況

清津昨今の滯貨に就て聞くに現在稅關構內の在貨は約二千四五百噸なるが之が搬出に就ては廿六日に宮島丸二十七日琴平丸二十五日に平安丸と阪神行き汽船が一時に出帆すべきを以て殆ど全部搬出を見る可く殊に宮島丸の如き今回は門司より清津に直航し復航には貨物滿載の豫定なれば一千噸以上の積載あるべく殊に現在の滯貨は一掃するに至らん尚ほ奧地よりの出貨は舊正月後一時減退せしも又々復舊出廻旺盛なるに至れりと(清津)

大阪財界通信

△支那向綿絲鈍調 目下阪神各倉庫に停滯せる輸出綿絲は約四萬梱ありこれ全く本邦相場昂騰して支那相場と出合はざるため昨年今期に比し十一割以上の輸出激減を來せり最近支那方面は舊正月明と共に人氣稍恢復し支那市場相場は二十一日六圓高となり戎二十手は既に相場出合ふ事となり其他の廿手も漸次相場接近の兆を生じたるが其原因は印度絲は日本絲より高く獨り安きは支那のみなれば同地の人氣も自然強氣に趨く傾向あるを以て本月を送り三四月の交には相應の註文輻輳し來るべく唯大需要地四川省は南北爭端の中心地となり居る爲め漢口方面の需要は幾分遲延すべく昨年の如き好況は見るべからず

△濠洲禁輸不安 濠洲の我國に對する禁輸目的は第三國を介して敵國へ物資供給さるゝ虞れあるが故に之を爲せしに過ぎずと傳へられ手續は從前より複雜となるに至りたれども特許によりて輸出さるべければ何等の懸念を挾ふ必要あらざるものゝ如く報道され居れども亞鉛鑛石の如きは外務省に對して其の成行に付き亞鉛鑛業會社より問合を爲し居れども未だ何等の回答に接せざるが濠洲同業者の新契約品の輸出は可能なるものゝ如く報じ來るものありとは言へ之が不安は未だ一掃されたるものとは言ひ難かるべしと

△綿絲輸出減少 紡績聯合會調査本月中旬の綿絲輸出高は一萬七百九十九梱にて前月中旬に比し三千三百五十四梱を增加したるが前年同期に比すれば六千五梱の激減にして又一月以降二月中旬の總輸出高は三萬四千七百八十七梱にして前年同期の七萬三千四百八十八梱に比せば十一割強の大激減を示し今期綿絲停滯約四萬俵に近き事分明なり

△印度向綿絲缺乏 印度向三十二手四十二手の綿絲細物は其後孟買市場より註文頻繁に入り來り前途非常に有望なるが本邦の紡績は內地及び支那向を主として廿手以下の太絲多く細絲の產額は割合に少なきためマンチエスターの供給杜絶に代用する印度の大需要に到底應ずるの力なく今更細絲紡機を增加せんとするも英紡機の註文非常に遲延する折柄新註文は兩三年後に非ざれば入荷の望みなきを以て止むを得ず印度人も展好機會を逸するの外なき實情也と(大阪支局)

◎咸北畜牛賣買近況

咸北に於ける昨年十二月中の畜牛賣買數は成牛は出市頭數牝一千六百七十三頭牡一千六百七十二頭賣買頭數牝四百七十二頭牡四百六十二頭賣買價格牝一萬七千四百七十一圓牡二萬五千百四十七圓平均一頭價格牝三十七圓牡五十四圓にして犢牛は出市頭數牝三百三十一頭牡三百三十七頭賣買頭數牝四十六頭牡七十四頭賣買價格牝九百十二圓牡一千七百二十九圓平均一頭價格牝十九圓牡二十三圓なり(清津)

人事消息

◎角尾尖風氏退院 總督府醫院に入院加療中なりし朝鮮新聞記者角尾尖風氏は全癒し廿八日退院の筈

▲齋藤音作林務長 入京中のところ二十七日夜出發歸任

▲吉植庄三氏(東拓平壤出張所長) 廿七日入京不知火へ

▲望月龜三氏(農商務省牛疫血淸製造所長) 廿七日夜入京朝鮮ホテルへ

百鬼百種

戰爭の長引くに連て味方も敵も困るものは兵隊でもなく武器でもなく國民生活の原素たる食物である▲仍で各國とも食料調節に全力を傾けて所謂食ひ延ばしの策を執つてゐる▲中にも英國では砂糖を最も貴重なものとして其使用量は一人一日幾匁と定め食料監督官といふ具合に限定され▲苟くも官の眼を睜つて居て見附次第最以上の砂糖を貪るものは國禁違反者として處罰することになつてゐる▲メリーコレリーと云へば現代英國の文壇に令名嘖々たる女流小說家である▲其作物は英國人から尊敬の眼で迎へられ我國にも其作風の渇仰者が少くない程の寶ツ兒だが▲人には一癖コレリー女史は天性の下戸で砂糖が三度のパンよりも好物だから堪らない▲莫大の砂糖を買込み珈琲に加へたり甘い菓子を造たりして遠慮なく國禁を犯してゐると鋭敏な監督官の嗅覺が承知せず▲有無なく踏込んで非愛國的な贅澤に對する懲罰として五百圓の罰金に處し▲猶裁判費用として二百圓を追徵された▲同女史は裁判所に於いて妾は決して一時に制限外の砂糖を消費したのではない▲貯藏を目的とするジヤムの原料に使用したのであると辯解したが其の言分は徹らなかつた相な▲これを見ても英國官憲が如何に食料に注意して居るかゞ判る

京日案內

普通 一回 五十錢 番外 一回 金[illegible]

▲申込は[illegible] ▲[illegible] ▲[illegible] ▲[illegible]

普通

店員 十五歲廿一歲各一名入用 要保證人自筆履歷 本町 ウツボヤ書店 430

◎店員入用 十七八歲の者五六名 京城青葉町二丁目一二〇番地 大橋大三郎商店 430

◎店員入用 見習員若干名採用 運送、帳簿、販賣係員 南大門驛前 協同組運送店 432

◎大連行石版活版印刷職工日鮮人各五名至急入用但保證人を要す 京城明治町四八 村上 425

番外

●古著高價買入御報參上 黃金町二丁目電話二三三〇 木村屋 437

店員募集 二十歲より二十四五歲迄の經驗ある者希望者は至急來談あれ 京城本町 ますや吳服店 457

店員募集 十五歲より十八歲迄の者數名及廿八歲迄の計算事務に熟達の者二名希望者は履歷書携帶 市內に保證人要す 京城長谷川町 近澤洋紙店

內地人女子募集 廿五歲迄 履歷書携帶事務掛にて承合すべし 總督府印刷所 434

高給社員 經驗の有無に不拘意志強固なる者を採用す希望者は來談あれ ◎京城總監部通 日本徵兵保險會社京城出張所 40

恩給年金立替 五年迄利一 即時取引退隱料一切千圓以上別契約 京城櫻井町二ノ一九八番 本店 博多屋 389

◎勸業債券 六五七六 三七回わ他店より特に高價買入 京城太平通り壹丁目拾參番地 朝鮮產業社 電話二七九三番 386

恩給年金立替 五年一半迄利一番 三年分迄無保險 京城若草町金光教會裏手 電話三三九 國江商會 336

恩給 年金長期低利卽金立替 一切引受 公債債券現物賣買 ▲抵保貸附 京城若草町百六十三番 電話三〇壹番 西村商會 325

恩給 月利一二五 年金五年迄 保險不要 即時 京城南大門外(舊)御成町 電話二六八番 山口屋 324

◎ほねつぎ うちみくじき 一切の治療御依賴に應ず 明治町 柔術道場 311

販賣品目 果樹苗各種 植林苗各種 種子各種 庭園木各種 蔬菜 骨粉 豆粕其他肥料 農具各種 園藝藥品 荷造材料
定價表無代贈呈 春陽將に迫る至急御注文を乞ふ
株式會社平安攻玉園 京城[illegible] 電話二六四番

朝鮮語會話

朝鮮總督府裁判所書記兼通譯生 普成商業學校講師 西村眞太郎著 第四版

受驗者必携袖珍總クロース四百餘頁美本(定價金八拾錢(郵稅四錢))

一、根本的に朝鮮語を研究せむとせらるゝ人士は必ず本書を勝讀せられよ

二、受驗者諸君は正確なる良書を撰ばざるべからず本書は完全なる智識を諸君に提供す

三、諸種の書に依りて搔き亂されたる諸君の腦髓は本書に就きて研究せば完全に正確に統一せらるべし速に一本を机上に載せて愛讀の榮を賜へ

賣捌所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

取次所 大阪屋號、巖松堂、京日各支局

生徒募集

本年四月左記各科第一學年ニ入學セシムベキ生徒ヲ募集ス

本校 染織科、應用化學科、窯業科(各科ヲ通シ)朝鮮人參拾名 土木科、建築科、鑛山科 內地人五拾五名

附屬工業傳習所 金工科、木工科、織物科(各科ヲ通シ)朝鮮人五拾名 化學製品科、陶器科(各科ヲ通シ)內地人廿五名

詳細ハ貳月九日以後ノ官報又ハ直接本校教務係ニ就キ承合スベシ

大正七年貳月

京城工業專門學校

優等清酒 一鶴

發賣元 永樂町二丁目 本莊酒店 電話京城 六五四番 二〇六番

謹啓各位愈々御清福之段奉大賀候陳者弊店儀從來藤製菓所名義を以て營業致居候處御高庇に依り日に增隆盛に趣き候段只管奉感謝候就ては今回組織を變更し藤製菓合資會社と相改め從前の通營業仕候間何卒倍舊御愛顧御引立賜り度右改名御披露迄如斯御座候敬白

大正七年二月廿日

人蔘キヤラメル製造發賣元

京城御成町五拾五番地 藤製菓合資會社 代表社員 藤貞市 電話二貳三貳番

近來諸原料暴騰の爲め不得已從來の價格より三割方値上げ實行仕候條此段謹告候也

大正七年三月

京城印刻業組合

第三種郵便物認可

[illegible]すると云ふ事は〔…〕契約〔…〕まるべく大戰に於て造船仲介業者に止の輸入は近く實現せらるゝものと見て恐くなきが如し而して益々鐵〔…〕の推定船は合計百十隻五十五萬噸にして昨年中の七十隻五十七萬噸に比し隻數に於て四十隻を增加すれども噸數に於て僅かに五萬噸を加ふるに過ぎず船腹の不足せる利益の多大なる今日に於て新造船六月までに進水の豫定なるを以て今後米鐵の輸入を見るに於ては造船能力の點より推斷すれば優に八十萬噸の造船は可能なりと云ふ可し船主としても材料の輸入可能なて今日迄に註文濟みの新造船を各船主別に擧ぐれば大阪商船、日本汽船、鈴木、淺野、三菱、三井の順序にして其主なるもの左の如し

三菱	六（中型）	[illegible]
岸本	二（中型）	三、八〇〇
東和汽船 日下部久太郎	二（小型）	一〇、〇〇〇

（辰馬汽船、日洋汽船、內田、橋本汽船等の新造船は何れも五千噸以上一萬噸〔…〕）

〔…〕十七隻は〔…〕竣工するものにして〔…〕インダス號は既に進水しアラビア丸アフリカ丸何れも（一萬二千噸）は近く進水せんとしつゝあり〔…〕に日本汽船の新造船は五千噸乃

●集めたり獨逸軍
◎西部戰線に百八十個師團
―主力はドノ方面を衝くか―
某軍事通談

獨逸は昨冬露國と休戰以來東部戰線から西部戰線に向つて種々逐次兵を移した居た事は爭はれぬ證據がある、而して先づ送られて居る逐兵數のみにても約三十個師團に達すると云ふ事である之は卽ち獨逸が東部戰線を平和して其兵力を擧げて西部戰線に派遣集中し以て

▲最後の一大決戰を試んとするものである事は無論であるが西部戰線の聯合軍側も亦其兵備は獨逸之に備ふる所があるのみならず各陣地は恰も永久的要塞を形成して居るから如何な獨逸軍でも容易に突破する事は出來ぬのであらう獨逸國內の平和熱は今や各階級に瀰漫して政府でも

◆容易に抑壓する能はざるものがある先達勃發した暴動なども其一端を示したものであるが獨逸の現軍閥政府は今春の作戰如何に於ける西部の活動に大なる自信を有して居るから暴動などは極力之を壓制して居るので漸く國內の安定を得て居ると云ふ樣な趣旨で獨軍の西部戰線に對する新攻勢は正に

▲獨逸の運命を決すべき重大作戰であると見なければならぬ從つて獨逸は昨冬來東部戰線から兵力を移送し西部に於ける兵力の增加を圖ると共に一面老兵に代ふるに精銳を以てする等專ら兵員の交換迄も行つた形跡があるから其實力が增加兵以上に增大せられて居る事は言を俟たぬ次第である今最近の西部戰線に於ける獨軍の

◆配備を推察するに本月初旬迄に認せられた獨軍の總兵力は大約百七十三四個師團であつて右翼白耳義海岸からオワーズ河に至る戰線は第四、第六、第二、第八軍を配備し巴威皇子が指揮をして居る其の兵力は約七十七八個師團に達すべくオワーズ河からモーゼル河に至る間は獨皇太子之を統帥し第七、第一、第三、第五及其他の軍の順序に配備せられて其兵力は約六十個師團を算する更に

▲モーゼル河から瑞西國境に至る左翼軍には死敦堡公軍たる二個の軍を配備し其兵力約三十四個師團であつて此の外確認せられた推定兵力を加ふる時は西部戰場に於ける獨軍の總兵力は實に百八十個師團以上に達する而して之等の獨軍が其主として方面に向くるかは未だ遂に判定し難いけれど春以來右翼卽ちオワーズ河以北の巴威皇子軍の兵力は著しく增加して居る殊に昨年の十月頃に比し約十五六個師團は增加して居る樣だが之等の事實に徵して見ると英軍方面に向ふであらうと推測が出來ぬでもないけれど先づ暫時未知とするのが當然である茲に最も注意すべきは

▲東部戰場を撤退した約五十個師團內外の兵力が未だ何の地點に移送せられたのかが不明であるが或は此の兵力を以て瑞西の中立を侵し右翼佛軍の側背に突擊せんとするのではなからうかと云ふ觀測も出來る之を要するに現在西部戰線の獨軍總兵力は今や聯合軍と

◆伯仲の間に あるのみならず春季作戰が獨逸の國運を決する最後の一大決戰たる事は先づ間違ない當然の見解である丈け其れ丈け三月以後の西部戰局の推移は多大の注目に値するのである

◆西部戰線に於ける英軍の一部

●入學期が近づいた（續き）
『御行儀の好い子』に萎びつけ度くは無いが

子供の入學時期が子供の心理の一轉機ともなることは前號に書いて置きましたが僅か入學してからは何事に今迄家庭に於ける主婦の訓化奈何の成績が遺憾なく表現されるものであります

◆些細な問題の樣でも精神上の良習慣◆

格―趣味性の上に著るしい差違を惡習慣と言ふものは其の子供の性となつて仕舞ふのであります今迄家庭で放縱な生活を送つて居た子供が初めて規律ある小學校に這入つて一番に困るのは便所です排便に就いての常習を養はせる事も無論必要ですが最初小學校でも父兄と懇談する樣に一體他の作法に比べると家庭では便所の作法の注意が屆いてない樣です

◆便所の作法なども模倣と習慣とで附◆

くもので主婦が自ら模範を示した上當然守るべき作法を敎へる必要がありますが他家に行つた時急いでらへの手拭掛に新らしい手拭の掛けられたのを見て感心しても若し一層の草履が亂雜に脫ぎ捨てられたのを見るならば平素の程が思ひ遣られる譯でせう人に見られない處だから疎かにすると云ふ事は

◆入前許りを飾りたがる精神上の惡習慣◆

を養はせる基になります、乃木將軍は好んで小學兒童と接觸されましたが小學校を訪うた時は必ず先づ兒童便所を見られたものですそして便所が美しければ其校の兒童には陰陽がないと云つて喜んで兒童の前に立つて訓演までして歸つたが若し汚れて居つたなら其儘歸つて了ふのを常としたのは

◆將軍の不言實行振を現はして餘蘊の◆

無き逸話です、四五歲の子供は近頃著物が重く自由にならぬ爲めに自ら始末するに困難の樣ですが是等も此の幼い時からの習慣の附け樣一つでどんなにもなる事ですから少し注著の時候が來たならば此の位の年齡でも親の監視の下に自分が始末する事を習慣附けたいものです、五六歲にもなればもう習慣の時代に入りますから

◆手を洗ふ事も每朝◆

顏を洗ふと同樣に慣れさせさへすれば寒い朝でも決して之を怠る樣な事は無くなりますが無暗に親の見たる所謂『お行儀の好い子』に萎び附けたくはありませんが精神上に及ぼす訓化を考へるとホンの小さな便所の問題でさへ等閑過眼視する譯には行かぬと思ひます

●試驗問題漏洩
滋賀縣敎育界紛糾す

滋賀縣敎育界に試驗問題漏洩事件起り目下紛糾を極めつゝあり（大津電話）

●二階墜落して十六名負傷

愛媛縣東宇和郡宇和村田之筋尋常小學校の二階敎室にて講演會開催中重量に堪へずして桂折れ四十名墜落し重輕傷者十六名を出せり（松山特電）

●又復白米値上
何處迄騰るか

瓩網で頸を絞めるやうな物價騰貴が近來益々激しくなつて來るに隨つて從來比較的安値を稱へられて居た白米が遂かに頭を擡げ出し遂ひに仁川期米では二十七日の最高値は二十二圓三十八錢と言ふ未曾有の跳上りを見るに至り

▣正米も 之につれて白米卸賣二十五圓五十錢小賣二十六圓即ち白米小賣は又復升につき五厘値上げを見るに至つた何故値上げに窮乏に値上げを以てするか一般需要者はまるで狐に惡まれたやうに感じて居るだらうが此が强氣材料として地方農家が

▣先高を 見込んで賣惜しんである、僕が貶いので賣急がない糧の出廻が漸次減少する、大手筋の買占めが始まつたなど、云ふ理由の下にじん〳〵騰つて行くのであつて今日の如き狀態が果して自然的の狀態であるか人爲的であるかは一寸

▣判斷が つき兼ねる、此に對して今日の米價は値が出過ぎて居るから引戾りは免れないのみならず米穀調節令でも出たならば反動が素晴しからうなど弱氣筋は流石に貧乏民の喜びさうな事を言つてゐるが何分慾う吊上る一方では調節令でも出て大鐵槌が下らねば收まるまい因に二三日來の騰貴は

▣前途が 騰貴として時局は益々紛糾するだらうとの不安が手傳つての値上げらしいとの事

●燒死五名を出す

二十六日朝飛驒國萬谷村肺藤直右衞門方より出火し五名の燒死者を出せり（大阪特電）

●山下老師の參宮

淨土宗智恩院管長山下老師は二十七日朝京都發伊勢參宮の途に就きたるが歸途桃山御陵に奉拜すべし（京都電報）

●雨聲會發會

歌舞曲音を主とせる諸種の藝術を傳り立てゝこれが眞面目な向上發達を期する一方研究的にこれらの藝術を味はひたいといふ趣旨から朝鮮公論の板橋菊松君が肝入役となり遊藝愛好者を會員に網羅して成立した雨聲會

●二高同窓會

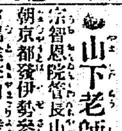
在京城第二高等學校出身者は來三月三日午後六時より花月に於て同窓會を開催する筈會員は出席の有無を旭町二丁目八番地瀨戶潔氏宛通知あり度と

●社金橫領公判

東拓社金三千六百十四圓四十六錢を費消せし元東拓大邱出張所庶務主任兼會計主任裁庭直吉（三〇）に對する橫領及び文書僞造事件は爾來大邱地方法院の豫審に附せられ居たる處愈々豫審終結し公判に附せられたるが來月十二日午前十時より五味判事係長尾檢事立會の上開廷の筈

●土工の慘死

慶北達城郡壽城面鳳德洞千四百三十七番地の一居住朱仁仲（二一）は去る二十二日同地內の陸軍新射擊場工事に雇はれ假屋敷に從事中午後三時半頃俄然土砂崩落し來りて埋沒され即死したり此急報に接し大邱憲兵分隊より憲兵及び警察署出張檢視の上屍體は家人に引渡したりと



▲浪花館 從來の落語諸演藝會一座に東京より新に三遊亭〔…〕を加へ上京さして賑はしつゝ續き開演する筈にてなるが入場料は從來通り

▲有樂館 二十六日より全部差替へて新派黃金窟、社會劇暴風の擬定日全五卷〔…〕

▲大正館 例の連續寫眞鐵の爪及び新派悲劇〔…〕大入を續け居れり

京城工專生 ―の賣れ口―
◆多過ぎて困る

△百に近い月給がある△ △附屬傳習生も引張凧△

戰爭の影響を受けて殊に好況を呈したのは何んと云つても工專が第一であらう從つて工業教育を受けた者の賣口と來ては素晴しいもので工業學校は常に生徒の豫約口が三倍四倍に上るので割當に苦心をすると云ふ盛況である、今京城工業專門學校宇野教授に就て朝鮮に於ける工業教育の狀態と今年の卒業生の賣口等を聞いて見る

▣本校には、高等な工業教育を授ける專門學校と普通工業教育を授ける附屬工業傳習所と二通りありますが傳習所の方は從來二年であつたものを今年から三年に改正して教科書に就ても中等程度に改正をし科目も增したのですがこれは新聯上二年教育では未熟であつて發達しつゝある工業に伴うて行く事が難しいからであります良職工たらんとするには努力と今少し進める必要があると信じます、傳習所の入學者資格は普通學校又は高等小學校卒業生を採りますが十二歲位では少し仕事が出來ぬ所から年齡は滿十四歲以上と定めたのであります本年の卒業生は全工科のみで二十一名ある內既に今日迄の申込は二十三名と云ふ多數に上つて居る爲め

▣割當に困つて居る樣な譯ですそれで待遇は什んなものかと申せば內地人で最高日給九十錢朝鮮人は七十錢と云ふ他に見る事の出來ぬ高率で申込んで來て居ますこれを見ても其子弟に高等の教育を受けさせる資力のある父兄は進んで斯樣な教育を受けさせる事が

▣本人の爲 でもあり〔…〕と思ふのです專門學校の方は本年初めて第一回の卒業生十八名を出す事になりましたが賣口は多過ぎて困ります今月迄に十六名の申込を受けて居りますが〔…〕卒業生の希望は官吏となるより寧ろ民間事業を希望致して居ります待遇は劣つても民業に就く事を希望して居りますが學校としても勿論それを望んで居ります

▣內地から の申込もありますが絕對にお斷りをする考へで全部朝鮮で働かせ朝鮮の工業界は本校の卒業生を以て活動せしめようと云ふ計畫です待遇も初めから最高內地人七十圓朝鮮人四十圓位で少し高率ではないかと考へましたが充分の

▣手腕を揮ふには矢張り相當の結果が必要だと思ひますから高くはないと考へます、志願者も昨年は募集者の約三倍ありました不景氣の時でもそれ程ではありませんでしたから〔…〕京城在住者であれば〔…〕方に四圍もありまして〔…〕ますから在朝工業家志望の青年は本校を選ぶが一番適當と考へます

●香港の大椿事
競馬場觀覽臺大破壞
死傷者千數百名

廿六日香港の競馬場にて競技の最中觀覽臺大破壞を來し觀覽者中燒死せしもの數百名又大混亂のため無慘にも踏み殺されし者數百名其の上に重傷者更に數百名を出せし大椿事あり當日觀客滿場立錐の餘地なく競技益々佳境に進み觀客吾れを忘れて大喝采の際竹柱に萱造りの支那人觀覽臺俄然全部の大破壞を爲せし瞬間に滿場火の海と化し一大修羅場を現出せしものにて未曾有の大慘事なり（香港電報）

購買入札
敎科書字句訂正表五萬五千部右購買ス詳細ハ大正七年二月二十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ
朝鮮總督府

生徒募集
入學出願期日 三月十五日迄
募集人員 本科第一學年約五十名 別科第一學年約二十名 其他各學年補缺約若干名
私立京城 女子技藝學校
南大門內 電話一七八九番

例年の通御引立奉願候
春季各種品揃
種子 苗木 農具 蠶具 肥料
朝鮮に於ける種苗店元祖 京城勸農園
京城府本町三丁目 電話七〇四番 振替京城五六番
種苗案內御入用の方は申越次第送ります

瓦斯發動機賣却
一、十二馬力瓦斯エンジン 一臺
一、十四馬力瓦斯エンジン 一臺
一、十五馬力瓦斯エンジン 一臺
但し附屬品一切附
右安價賣却仕り候間御望の方は至急御照會を乞ふ
京城太平通り二丁目九五 電話長一九一七 安達商會

京城古市町電話二七四六番
紙類工場特製人蔘エキス瓶其他一般の御注文に可應候
畑兄弟硝子工場 主 畑六一

最新刊

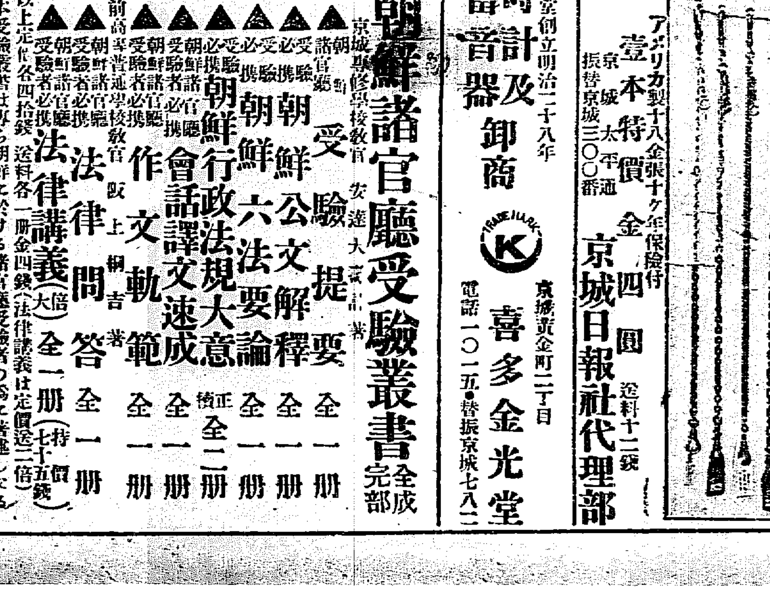
書名	著者	定價
日本帝國第三十六統計年鑑	內閣統計局	三、五〇
航空機關車工學前編	井上大衣	二、七〇
何が教育か	稻毛詛風譯	一、六〇
小學理科教材及教授法の研究	中泉正雄 矢澤広雄	二、四〇
國民道德概論	井上哲次郎	二、五〇
哲學より政治へ	北昤吉	一、三〇
必勝秘傳	白鳥隆士	九〇
最新製圖法自在	川嚴	六五
英語の學び方		定價九十五錢
妻へ	草三田田佐子	一、五〇
紙草	村松梢風	九五
浪六傑作集第三各	村上浪六	一、二〇
雪中梅と花間鶯	末廣重恭	一、五〇
大菩薩峠	中里介山	一、〇〇
カインの末裔	有島武郎	五五
實用的呼吸健康法	伊藤銀	九〇

大阪屋號書店

質
大口歡迎 黃金町二丁目長橋町 電話二九一六番
田村質店 商品擔保便利取扱

朝鮮諸官廳受驗叢書 全成完部
京城專修學校教官 安達大壽計著
▲諸官廳受驗必携 受驗提要 全一册
▲受驗必携 朝鮮公文解釋 全一册
▲受驗必携 朝鮮六法要論 全一册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 朝鮮行政法規大意 正續全二册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 會話譯文速成 全一册
▲前高等普通學校教官 上桐吉著 受驗者必携 作文軌範 全一册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 法律問答 全一册
▲朝鮮諸官廳受驗者必携 法律講義（大倍）全一册（持價七十五錢）
以上定價各四拾錢 送料各一册金四錢（法律講義は定價送二倍）
本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして在來試驗出題せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題の方針に則り極めて適切なる事項を網羅して最も適合せる模範的解答を施し而して其他に於けるなれば受驗準備書として最も適切明確なるものなり發行以來好評嘖々たるは此等の狀況を證するものなり凡そ朝鮮總督府及所屬各官署に於ける判任文官の試驗に朝鮮巡查、看守、其他各種の資格を要する諸試驗に受驗せんとする者は迅速、正確、宜しく本叢書を座右に備へ各科目を一日も早く修了せらるゝ事を祈る。
發賣元 京城太平通一丁目 京城日報社代理部 振替京城三〇〇番

時計及蓄音器卸商
紫室創立明治二十八年 京城黃金町二丁目
喜多金光堂
電話一〇一五・振替京城七八二



アメリカ製十八金張十ヶ年保證付
壹本特價 金四圓 送料十二錢
京城太平通 振替京城三〇〇番
京城日報社代理部

各種鑛物分析依賴 金銀精製に應ず 新發見鑛區買入
京城旭町一丁目七 中村分析所 電話一一一七番

諸物價非常なる騰貴の爲め來る三月一日より牛乳直段左記の通改定仕候
一牛乳一合に付金壹錢値上
右謹告仕候也
京龍牛乳搾取販賣業者一同

〔…〕長興酒の入札〔…〕全南長興郡に〔…〕以て堅ひだり一束に付松印五九〇、竹印五十〇、梅印三八〇、桐印二八〇

製造元とのやくそくで割の安い品そろいの
砂糖、麥粉、罐詰、寒天、石油、洋燭、醬油、紙、乾物、淸酒、ビール、サイダ、淸涼飮料、煙草、染粉、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品
大おしろ 仁川本町 河野本店 電話長二八一二番

內科 眼科 小兒科
京城黃金町三丁目赤門通（電車停留所前）
本田醫院 院長 本田建義
附屬 京城肛門病痔疾療院
電話二四四三番 振替京城三二八番
入院隨意 肛門病の諸療法特種注射根治療法解說書入用の方郵券十二錢要す

櫻御殿

第百六十四回　大阪殿の家主人

座敷牢（三）

彦丸は頷くばかりであつた。清之亟は膝を寄せて
「今云うた文通、それは月に何度位でも取り寄するか喃」
「さうぢや、まア二三度でおらうかさ」
「近々此方からお消息を遣はされる模樣はないか」
「無い事はない、三日程ど前、奥方へ御消息が參つたに由つて今度は奥方から御返事を遣はされる譯ぢや」
「それが和御寮に克く知れるか」
「知れる段でない、お消息の出る時は、お切手門へお飛脚が參つて居る」
「ふむ、お飛脚が——それを前の日に知る法があるか」
「有る」
「さらばそれの知れた時、ソッとわしの許へ知らせ吳れぬか」
「何でもない事、委細は心得てござります」
「きつと頼む、その事首尾好く爲ろに於ては、和御寮の望みも協へて遣はそう」
「辱うござります」
「よく致せ、奥向に氣を付けて、不審に思ふことあらば、すぐ我等へ通達せい」
「皆な致します」と彦丸は無意識に頭を下げて「その代り、わしを居間へ戻して下されいの」
「其の儀は承知、機會を見て侍從樣へ御詞ひ上げる、恩賞を望む者はまづ忠節を勵んでかゝる、和御寮もそれが專一ぢや、首尾好く望みが協へたいと思はゞ、まづ忠勤を抽んずるぢや」
「忠勤は飛脚の出る日を、內通すれば好いのでござらう」
「いかにも」
「易い事／＼」と嬉しさうに云つたが、氣付き大簡お知らせ申すーと愚鈍な心には疑ひが起り易い「冥賞は如何でござるか」
「冥賞とも冥賞、弓矢神も御照覽あれ、二度刀持たぬ誓もあれぢや」
彦丸は清之亟が詞强く云ふのを聞いて、限り無き嬉しみを見せた踊いて、踊つて行つた、清之亟は、一身を備後守に任せながら、尙宗族に心を置いて、何かと內通の消息を斷たぬ美知姫を憎く思つた、同時に芳野を獅子身中の蟲と卑んだ
「彦丸如き人間が、折柄御家中に現はれたも、天道御當家へ幸運を與へたまふ知らせであらう、奥方を手に掛けることこそ爲られね、これと確な證據を得ば、それを御前の御目に掛け、然る後まづ手足となつて働く芳野を遂ひ出し、奥方を孤立の地に置いて、それとなき御諫言を申すとしよう、斯くてお與が淸められる、今のまゝに捨て置いては、永久枕を高く眠る時がない」
清之亟は一圖に時節の到來を樂んだ、さうして總の用意をして、彦丸からの內通を心に待つた
用意とは腹臣の家來に、命を投け出せと命ずるのである、命に賭けて、飛脚を捉へよと吩咐けるのである、飛脚の往路を待伏して、證據の一通を奪ひ取らせやうと云ふのである
その大任に當つたのは、清之亟の若黨甚內角內の二人であつた、二人とも二十一歲、下賤には生れたれど、忠義の心は骨まで匂ふ、清之亟が事を分けて賴むのを聞いて
「御安堵なされませ、どうせ一度は死ぬる命でござります、斯して死ぬればお上の御用に立てば、甲斐ない命に光りがさすのぢやでござりませぬか」
清之亟は二人の義氣を歎んだ
「假令萬一の事あつても、お身達の家族は引き受ける、仕損じたら死んでくれ」
「御念に及びませぬ、立派に命を捨ててお目に掛けます」

□水温む
…五の日十の日會…

○ 浮碧樓
水温む牛にかゝらひぐ牛居り
新聞ポケットにして水温めり
水温む立ちつくして乘り合ふよ

○ 阿戯良
水温む生徒ら小石を持てるなり

○ 鳥堂
水温む縁下の笈の子幾ら巻かれ
大勢や水温む誰かと言つて居る
—一二一五—

□春燈吟
其の二…大正七、二、九…

春寒　水子
僞古き色褪せし鳥や春寒し　同
春寒く鳥顔洗ふ男かな　同
山下りて泥街路や春寒し　迦
殺し子に獸夫婦や春寒し　非昔
春寒の寺へ降ろや枳殼垣　但
灑ぎ人石濡らし去る春寒し　南城人
春寒や庭芝廣く柏一樹　橙黃子

◎クラブの外人技師聘傭　クラブ化粧品の代名詞たるかの如き有樣にて內國は勿論支那、南洋等にも盛に輸出せられ今やクラブ全盛の時代となれるが同本店の經營は決して一日も休止せず一昨々年創設の中山化學研究所の事業が着々緒に就くと共に昨年五月より前記技師ピー、エル、スミス氏を英佛米の各國に派遣して世界的に新案を調査研究せしめ昨年十一月には英國化粧界に於ける老功の大家ジェームス、ウエーンライト氏を技師として聘せる外更に英佛米の大會社に在りて有名化粧品の製造上二十餘年の貴き經驗を有せるアッシュブルック氏を顧問技師として英國に常置し尙ほ本年一月よりは英國クイーンス大學化學教授フランニガン博士を技師として新に聘せる等頗に得難き智識と經驗との無盡蔵を擁して既製品の改善と新製品の研究とに一日を空しうせざる一方には昨年十一月より工を南大阪の地に起して宏大なる工場の新築に着手し本年四五月の頃には全部竣成の筈なりといへば設備の完整と人材の聚致とは相待つて日本名物クラブ化粧品はやがて世界名物となり堂々世界市場に雄飛するに至るべく今後に於けるクラブの活躍振こそ一層の觀物ならんと

新刊紹介（到着順）

▲支那商業習慣（東亞實進社編）支那研究叢書の第三卷にして本書は支那商賈の性色、資本「投資法」、經營者、店舗、商人の信用、取引、貸借法、交通、商業簿記、賬簿、貨幣、尺度、度量、權衡等の諸章に分ちて支那の商習慣を詳述したるものなり（九卷の總額十四圓東京芝櫻川町二〇東亞實進社）▲法治國（二）法政に關する有益なる記事を蒐む（十錢東京々橋新肴町一組合東京法律事務所）

讀者の領分

三月十日の陸軍記念日に盛大なる祝典があるさうだが其當時の從軍者にして國民兵役に有る者等には何等慰勞の方法はないですか春天の盛況すらも知らぬ青年の中少尉が盛大なる祝典に參列し生等國民兵が參加し得ざるは其意を得ぬと思ひます（老兵九十）▲小生は渡鮮後日尙淺いので如何なる事情の許に朝湯を廢したかは存じませんが石炭の値上で止めたのならば相當湯錢値上しても長い湯で欲きたいものです當該湯屋へ（エス生）▲本町一丁目大和軒でも北內紙店でも近來頗る橫柄に成つて貧民に救助でもするやうに食に物を與ふるやうに少しの愛嬌も表せない近頃始めた三好野の栗餅までが一寸眞似かけた怪しからぬ（往來一）▲彌次歡迎生の琵琶演奏者に對する忠告は至極贊成生はより以上忠告に止まらず其內情を曝露して世人に見せたい彌次を發揮せしむるは演奏者其者の罪である然るに何事ぞ御客樣たる者を引出す如き不穩を一見よ當時の內情を精探せば眞疑直に判明すべし生の苦言多少なり共琵琶に趣味を有する世人の廓清の端を大にするを得ば幸なり（小澗次）

▲文章俱樂部（三）十錢東京牛込矢來町三中の丸新潮社
▲營林廠案內　非賣品　總督府營林廠
▲營林廠事業綱要書二　非賣品　新義州總督府營林廠
▲月報（三九）二十五錢安東縣商業會議所
▲お伽噺とお伽唄（薄田泣菫著）綺麗な詩入の少年少女向き著述なり裝釘善美にして內容清新の趣味に富む（一圓東京神田富山房）
▲新家庭（三ノ三）卷頭の彩畫及び寫眞版は何れも美しく愛らしきものゝみを選びて鮮明に刷出し本文亦た家庭向きの有益多趣味なる記事多數を滿載す（三十錢東京芝公園丸文社）
▲市町村雜誌（二九一）十三錢東京芝田村町六共社
▲日本少年（三月號）外觀內容ともに充彩陸離たるものあり大刀太郎猛火戰ふこそ四十年たこの記事最も見るべくその他少年が見ていづれも喜びさうな讀物ばかりを滿載せり（十二錢東京々橋實業之日本社）
▲少女の友（三月號）家庭と學校の連絡に特色を有する此の雜誌三月號の呼物としては高等女學校入學試驗問題及解答を集め露に中井博士の「世界通信」其他趣味ある新讀物を滿載せり（十三錢東京々橋實業之日本社）
▲婦人世界（三月號）現代の婦人と家庭とに最も適切ある相談相手たるべき雜誌なり有益なる修養問題あり又趣味ある家庭問題あり外に小杉天外村井弦齋氏の創作其他に面白き記事多し（十錢東京京橋實業之日本社）
▲婦女界（三月號）本號には漢方藥法に關する記事多く中にも肺病心臟病胃腸病日光消毒家庭に病人が出來た時の注意急性腦膜炎などは見逃すべからざるものなるべく小栗風葉氏の小說あり又良妻賢母を得る秘訣など云ふ貴用な記事もあり（十錢東京麴町）
▲婦人界（三月號）萬人向きの婦人雜誌にして書き方平易に而も實用的なれば家庭各番の相談相手として申分なし（十七錢東京々橋東京社）

名聲いよ／＼高く信用ますます厚き
高麗人蔘エキス
京城府明治町一丁目
小笠原大藥房
電話一九四八番
大阪市西區市岡町二七一
支店

椿の實を特に內地に取寄せて、皮膜を去り、冷壓法を以て搾取したる、新鮮純良にして、毛髮の衞生に適し、色艶を麗しくする……
◎ミツワ椿油
種類　小壜入　定價　金二十錢　中壜入　五勺入　金三十錢
大壜入　一合入　金五十五錢　五合入　金二圓五十錢
ミツワ椿油は製造法を改良して、冷壓法で强力なる水壓機を用ひ、少しも熱を加へずに搾取した新鮮純良なる椿油で、普通の椿油と異り毫も惡臭を含まず。平素此ミツワ椿油を使つてみると「理想的滲透性不乾性油」と云つて毛髮に滲込む力が强いから、毛髮の發育を助け、且つ色黑く艶を麗はしくし、毛髮と空氣と接觸することが少く、從つて空氣が毛髮に接觸る結果、漂白と云つて毛髮の黑い色素が段々に減り、赤毛や白毛に早く成り易い憂を除き、凝つたり臭氣を發する等のことも無く何時も艶なしい濡羽色で、裂毛、折毛などの憂は決してないのである。
ミツワ御化粧毛用椿油　東京丸見屋商店發賣

◎ミツワ水枕（みつわ・みづまくら）
新案特許―純護謨製　大阪　宗田商店謹製
定價　大形一圓　中形八十五錢　小形七十錢　特製三圓
凡ての家庭には必ず二個の水枕を備へざる可らず
（特製新案圖）（大形新案圖）
子供に熱の出た時などには水枕が最も必要缺くべからざるものです—學生が勉强して疲れた時なぞ水枕をすれば忽ち元氣回復します—其水枕の中でも特に完全な水枕はミツワ枕であります。
ミツワ水枕は枕の內に鋼壁を設け、中へ氷水を入れると自然に凹形になるやうに製してあります。左右に搖れたり、チャプチャプしたりすることなく、それに兩端が高く中央が凹んで居ますから頭を冷す力は最も完全であります。
總ゴム入、多年苦心の結果漸く案出したる、極めて簡便にして且つ完全なるもので、素人にも病人にも容易く使用する事の出來る誠に理想的のものであります。
ミツワ石鹼　ミツワ家庭藥　規那鐵葡萄酒　肝油ドロップス　御園化粧品
發賣元　◎　丸見屋商店
東京市日本橋區橘町四丁目
藥劑、化粧品、石鹼、香粧品、小間物問屋
電話浪花四四八、四四九、四五〇番　振替東京七一〇番

內科　呼吸器病　胃腸病喘息
小兒科　リユマチス
京城本町二丁目四十五番地電話二八八〇番
山田病院
院主　山田萬作

比較は最良の撰擇法なり!!
サクラ正宗　サクラ正宗
京城明治町二丁目
山邑京城支店
電話四八一、九四五番
振替京城五七番

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町一丁目（朝鮮銀行裏門通）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

營業品目
肥料部　蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、星印配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
京城東大門外紅葉町
朝鮮肥料製造所
電話二六三五番
石鹼部　化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、苛性曹達、洗曹達
京城岡崎町一四番地
朝日石鹼製造所
電話二五六四番
工場電話二九七三番
振替口座京城一〇七〇四番

御料理仕出し
親子丼
折詰辨當
京城南大門集會所隣
㊅ 福島屋
電話一五七四番

醫化學諸器械一式
藥種賣藥卸商
Ⓚ
仁川本町
北島藥店
電話三三四・振替京城六七番
京城本町永樂町角
北島藥店京城支店
電話七六一番

內外科
小兒科
花柳病
京城本町二丁目（郵便局前）電話二一六番
高井醫院
院長　參察自午前九時至午後九時　日曜祭日正午迄
　正六位勳四等功五級　高井貞治
副院長　千葉醫學士　松崎正彥

資本金　壹百萬圓
諸積立金　參十一萬五百圓
京城南大門通一丁目
株式會社　朝鮮商業銀行
電話五五八。同六八一。〇三四　一七〇番
振替京城一六〇三
銀行長　趙鎭泰
支配人　豊田明敬
一般銀行業
倉庫業
南大門支店　電話七七〇・一〇五番　振替一六〇六番　平澤支店
本町支店　電話一九八四・三二番　群山支店
仁川支店　電話一〇八六・二九番　東大門出張所

贊化病院
京城明治町一丁目
電話二四〇番
內科　小兒科
入院隨意
無料施療す　毎日五名を限り
醫學博士　古城憲治

京城龍山等各地に僞物有御注意
百圓　りん病　ばい毒
請合　百圓進呈
帝國醫科大學院
病毒薬王は、淋病に對し最も有效と確定
大阪有田ドラッグ商會
にせ物　京城其他各地にあり
京城南大門外停車場通
大阪ドラッグ商會鮮本部
京城黃金町三丁目　大阪ドラッグ商會
釜山大廳町二丁目　大阪ドラッグ商會
元山本町三丁目　大阪ドラッグ商會
他の藥店に販賣を不許
詳細は本月一日の本紙を御覧
京城　南大門停車場通　大阪　ドラッグ

尼崎汽船出帆　仁川出帆
神山丸　二月廿八日午後四時出帆
秀吉丸　三月一日午後四時出帆
君代丸　三月四日午後四時出帆
六有丸　三月七日午後四時出帆
仁川海岸通二丁目　杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、天津行
和泉丸　三月二十日
三河丸　三月十日　正午出
高砂丸　二月廿八日
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

釜山出帆廣告
汽船　門司、神戶、大阪行
和歌浦丸　一月一日後五時出
立神丸　二月　日後五時出
元山、淸津、浦鹽行
和歌浦丸十一月　日後十時出
立神丸　十二月　日後四時出
佐須奈、厳原、壹岐、博多行
天草丸　每月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆
元山、西湖、新浦、城津、淸津行
第三蛟平丸　二月廿三日後六時出
門司、宇品、神戶、大阪行
第三蛟平丸　三月　四日後六時出
釜山港本町　大池回漕部

仁濟共同汽船仁川出帆
芝罘、大連行
共同丸　二月廿八日午後入港　三月一日午後出帆
阿波共同汽船株式會社
本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部
京城次取店　河村運送店

大阪商船株式會社汽船出帆廣告
仁川出帆
神戶大阪行（經由釜山）
須磨丸　三月九日後五時出
南部丸　月　日後五時出
木浦、釜山、厳原、鄉ノ浦、長崎行
安東丸　三月十八日後二時出
信濃川丸　三月一日正午出
大連行
安東丸　三月十三日正午出
信濃川丸　二月　日正午出
西湖津、新浦、城津、淸津行
安平丸　三月二日後十二時出
釜山、門司、宇品、神戶、大阪行
宮島丸　三月一日後九時出
上海、芝罘行
基隆丸　三月十四日前六時出
北嶺丸　三月二日後四時出
內地各港出帆定期表略
南米行　每月一回
北米行　每月一回
孟買行　每月二回
南洋行　一年四回
仁川支店　電話一二〇番
京城出張所　電話一二〇番

朝鮮郵船出帆
本社　電話一九五二番
釜山支店
元山出張所
仁川港代理店　堀回漕部
木浦港代理店　山野回漕部
京城南大門停車場前　松原運送店
元山より北鮮各地經由雄基行
鏡城丸　二月　日
城津丸　二月　日
鏡城丸　二月　日
京畿丸　二月　日
忠淸丸　二月　日
高運丸　二月　日
大阪行（釜山門司經由）
平壤丸　一月　日　釜山發
元山より釜山浦項行
第二高運丸　二月　日　元山發
元山より迎日灣浦項釜山經由
咸鏡丸　一月　日
忠淸丸　一月　日　元山發
浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸　每日　釜山發
蔚島丸　一月　日　釜山發
濟州島行長承浦經由
昌平丸　一月　日　釜山發
濟州島行（西廻）
東廻　公州丸　一月　日
西廻　慶興丸　一月　日　木浦發
統營丸　每日　釜山發
釜山、巨濟丸
南陽丸　三日目每二　木浦發
木浦より多島名島行
慶興丸　二月　日　木浦發
仁川木浦行（郡山其他各地經由）
晉州丸　二月　日
金海丸　一月　日　仁川發
濟州行（江華島經由）
全州丸　休航　每日　仁川發
南陽丸　休航
三十一日一休航
其他結氷ノ爲メ休航行ノ事アリ
市島行（芝罘、大連經由）
江原丸　一月　日　仁川發
三津行（大阪神戶門司より）
慶平丸　一月　日　釜山發

下期期米　二十七日後場
大引
仁川米豆取引所　二十七日の四月限